

MITSUBISHI

HDMITM
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

三菱液晶プロジェクター

形名

LVP-HC6000

取扱説明書



このたびは三菱液晶プロジェクターをお買い上げいただきありがとうございました。
ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要なときお読みください。
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

製品登録のご案内

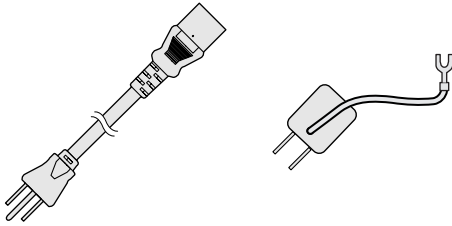
三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくとお客さまに役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる、「製品登録サービス」を実施しております。詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage>

付属品を確認する・リモコンに乾電池を入れる

付属品を確認する (このプロジェクターには次の付属品があります。そろっているかどうか確認してください。)

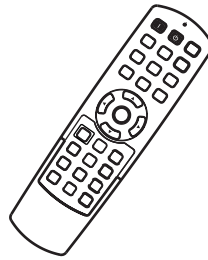
■ 電源関係



電源コード

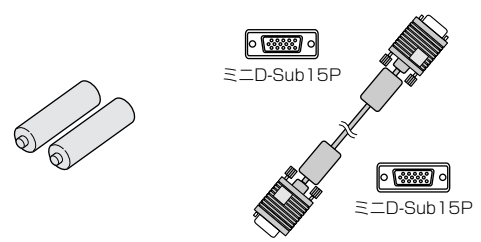
変換アダプタ

■ リモコン関係



リモコン

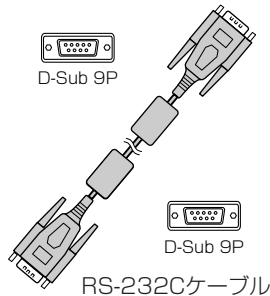
■ 映像関係



単三乾電池(2本)

RGB信号ケーブル

■ パソコン制御関係

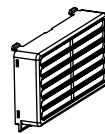


D-Sub 9P

RS-232Cケーブル

D-Sub 9P

■ フィルター関係



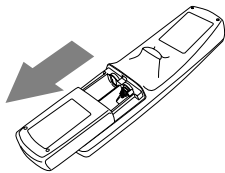
付属フィルターユニット

■ その他

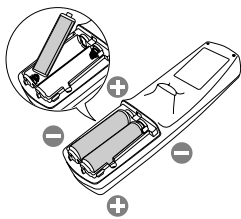
- ・レンズキャップ(本体に付属)
- ・取扱説明書
- ・クイックスタートアップ
- ・保証書
- ・ランプ交換用トレイ

- 付属の電源コード・変換アダプタは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。
- 天吊り時など、本機を高い位置に設置する場合は、落下の危険があるので、レンズキャップを使用しないでください。

リモコンに乾電池を入れる

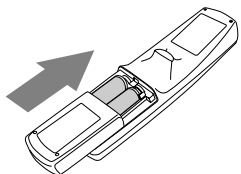


1 リモコン裏面のフタをはずす



2 乾電池の(+)、(-)をよく確かめて、(-)側から正しく入れる

- 乾電池を(+)側から入れると、(-)側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れ、ショートして発熱する恐れがあります。



3 裏面のフタを付ける

- 乾電池は、単三乾電池(R6P)を2本お使いください。
- リモコンを使用できる距離が短くなってきたら、2本とも新しい乾電池に交換してください。

⚠ 注意

- 電池は、7ページに記載している「乾電池の取り扱いについて」を良く読んで、正しくお使いください。使用を誤ると液もれや発熱、破裂により、火災やけが、周囲の汚損の原因となることがあります(電池に表示されている注意事項もお読みください)。
- このプロジェクターはプラグ接続機器です。機器の近くにコンセントがあり、かつそのコンセントには、容易にアクセスできなければなりません。
- 本機には付属の電源コードをご使用ください。付属以外の電源コードを使用すると、ラジオやテレビの放送電波障害の原因となることがあります。
- J55022 クラス B装置の規制範囲内に干渉を抑えるため、付属のRGB信号ケーブルとRS-232Cケーブルをご使用ください。
- 本機は必ず接地してください。

もくじ

はじめに	安全のために必ずお守りください 4~7 各部のなまえ 8,9 本体のなまえ 8,9 リモコンのなまえ 9 リモコンの使いかた 10
映像を見る	設置する 11~13 スクリーンの設置 11 基本的な設置 11 画面サイズと投写距離 12,13 ビデオ映像を見る 14~18 A.ビデオ機器と接続する 14,15 B.電源コードを差し込む 15 C.投写する 16,17 D.アスペクト(画角)設定について 18 コンピュータの映像を見る 19~20 A.コンピュータと接続する 19 B.電源コードを差し込む 19 C.投写する 19,20
設定・調整する	メニューを使って設定する 21~26 メニュー遷移図 21 メニュー設定のしかた 22 メニューで設定できること 23~26 映像を調整する 27~29 映像の明るさを調整する(コントラスト、ブライト) 27 白の色合いを調整する(色温度の詳細設定) 27 色を調整する(色の濃さ、色合い) 27 映像をくっきりさせたり、ソフトにする(シャープネス) 27 映像を光学的に明るくさせたり、暗くする(オートアイリス) 28 明るさの変化の割合を調整する(ガンマモードの詳細設定) 28 ノイズを減少させる(ノイズリダクション) 28 AVメモリー 29 コンピュータ映像の調整 29
その他	パスワードを設定する 30 設置工事を依頼するときは 31 お掃除のしかた 32 付属フィルターユニットについて 33 光源ランプを交換する 34,35 故障かなと思ったら 36,37 索引 38 端子について 38 仕様 39,40 別売品 39 接続できる信号の種類 40 インジケータの見かた 41 保証とアフターサービス 42,43

はじめに

映像を見る

設定・調整する

その他

もくじ
付属品を確認する・リモコンに乾電池を入れる

商標および著作権について










- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- その他、本書に記載のメーカー名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---	---	-------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

 絶対に行わないでください	 絶対に分解・修理はしないでください	 絶対に触れないでください
 絶対に水にぬらさないでください	 絶対にぬれた手で触れないでください	 絶対に水場では使用しないでください
 手をはさまないように、注意してください	 必ず指示に従い、行ってください	 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください

警告

故障したまま使用しない

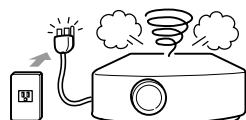
万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

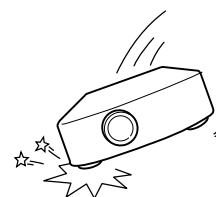
煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!



プラグを抜く

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理をご依頼ください。

落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない

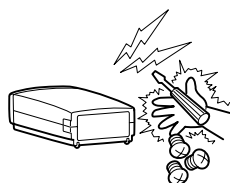


使用禁止

火災や感電の原因となります。

次のようなことはしない

キャビネットをはずしたり、改造しない

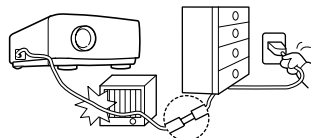


分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

電源コードを傷つけない

- 重いものをのせない
- 引っ張らない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 加熱しない
- 加工しない
- じゅうたんなどの下にひかない



禁止

コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

内部に異物を入れない



禁止

金属類や燃えやすいものが入ると火災や感電の原因となります。

花瓶やコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない



禁止

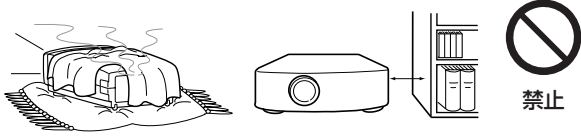
内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

警告

次のようなことはしない(つづき)

吸気口、排気口をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない (壁から50cm以上離す)
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 排気口付近に燃えやすい物を置かない



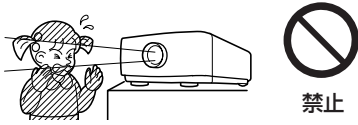
吸気口や排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



感電の原因となります。

レンズをのぞかない



光源ランプの点灯中は、レンズをのぞかないでください。強い光によって視力障害などのけがの原因となります。

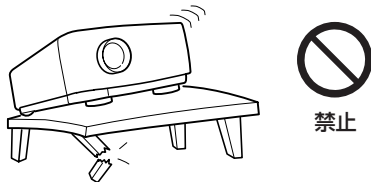
可燃性の溶剤(ベンジンやシンナーなど)やスプレーを近くで使用しない



ランプを点灯すると製品内部は非常に高温になるため、引火し、火災や故障の原因となることがあります。

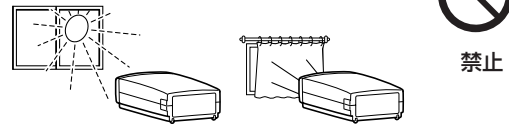
次のような場所に置かない

不安定な場所には置かない



(特に上下逆さまに置いた状態で)ぐらついた台の上や、傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

直射日光の当たる場所に置かない レンズを太陽に向けたり、レンズの直前に物を置かない



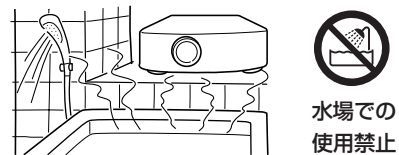
火災や故障の原因となります。

ソファ、椅子などの上に置かない



吸気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

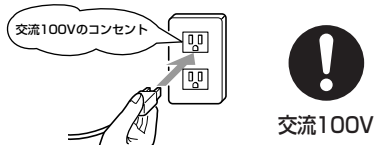
風呂場では使わない



火災や感電の原因となります。

その他

正しい電源電圧で使う



交流100V以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

使用した直後、光源ランプの交換はしない

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので、交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。



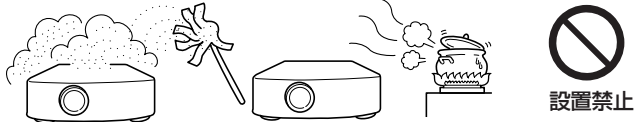
安全のために必ずお守りください(つづき)

⚠ 注意

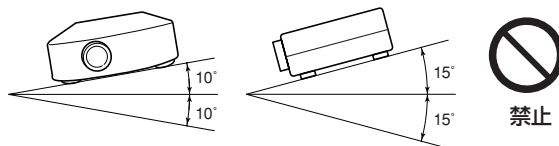
次のような場所には置かない

設置時は、次のような場所には置かない

- 押し入れや本棚など、風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など、高温になる場所
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所
- 熱器具の近く
- 直射日光の当たる場所
- 火災報知器の近く
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 振動や衝撃が加わる場所

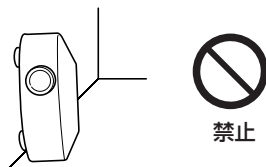


傾けた状態で動作させない



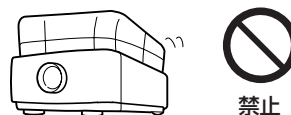
傾けた状態で動作させるとランプの故障や破裂の原因となります。左右方向に対して±10°、前後方向に対して±15°を越えて傾けた状態で動作させないでください。

立てた状態で置かない



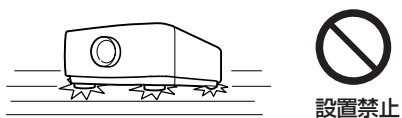
倒れて、けがや故障の原因となります。

重いものを置かない、踏み台にしない



本体がこわれることがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

ワックスのかかった床に直接置かない



床上のワックス、洗剤、溶剤により、床材とプロジェクター底面脚部分の密着性が上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

電源コード・プラグについて

接続したまま移動させない



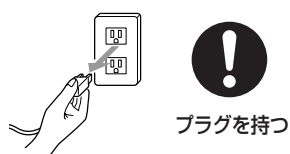
電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する



ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

電源プラグを持って抜く



電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

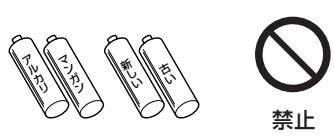
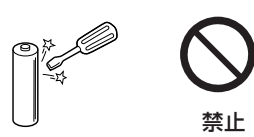
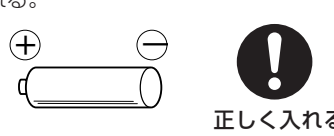
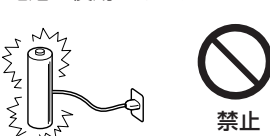
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

乾電池の取り扱いについて

<p>新しい乾電池と古い乾電池や、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。</p>  <p>禁止</p>	<p>分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない。</p>  <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 乾電池は、(－)側から入れてください。乾電池を(＋)側から入れると、(－)側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れて、ショートして発熱する恐れがあります。 ● 使いきった乾電池は、すぐに取り出してください。 ● 乾電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。 ● 使用済みの電池は、地域の破棄ルールに従って破棄してください。 ● 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師に相談してください。
<p>プラス(＋)とマイナス(－)の向きを正しく入れる。</p>  <p>正しく入れる</p>	<p>乾電池を充電しない。充電式の電池は使用しない。</p>  <p>禁止</p>	

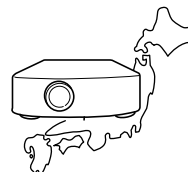
その他

1年に一度は内部の掃除を依頼する



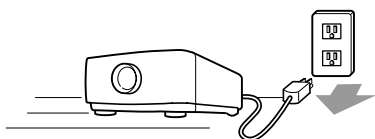
販売店にご依頼ください。ほこり、油煙、けむり等により内部に汚れが付着したまま長い間掃除をしないと、火災や故障および、光学部品の汚れによる輝度劣化の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、販売店にご相談ください。

この液晶プロジェクターは日本国内専用です



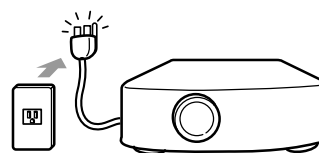
電源電圧の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This LCD projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

ご使用が終わったときは、電源プラグをコンセントから抜いておく



電源ボタンで電源を切り、光源ランプを消灯したスタンバイ(待機状態)にします。約2分間待ったあと、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。スタンバイにして約2分間待つのは、光源ランプを冷やすために吸、排気ファンが回っているからです。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う



安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

製品使用中は排気口をのぞき込まない

排気口から温風、ゴミなどが吹き出すため、目をいためることがあります。



排気口、底板は熱くなりますので触れないこと

やけどや他の機器への損害を与える原因となりますので、さわったり、排気口の近くに他の機器を設置したりしないでください。また、熱に弱い机の上などに置かないでください。

海拔1500m以上での使用は避ける

海拔1500m以上での使用は、製品の寿命に影響するおそれがあります。



レンズシフト動作中はレンズ開口部に手を入れない

手(指)がはさまれ、けがの原因となることがあります。



吸、排気口に指などを入れない

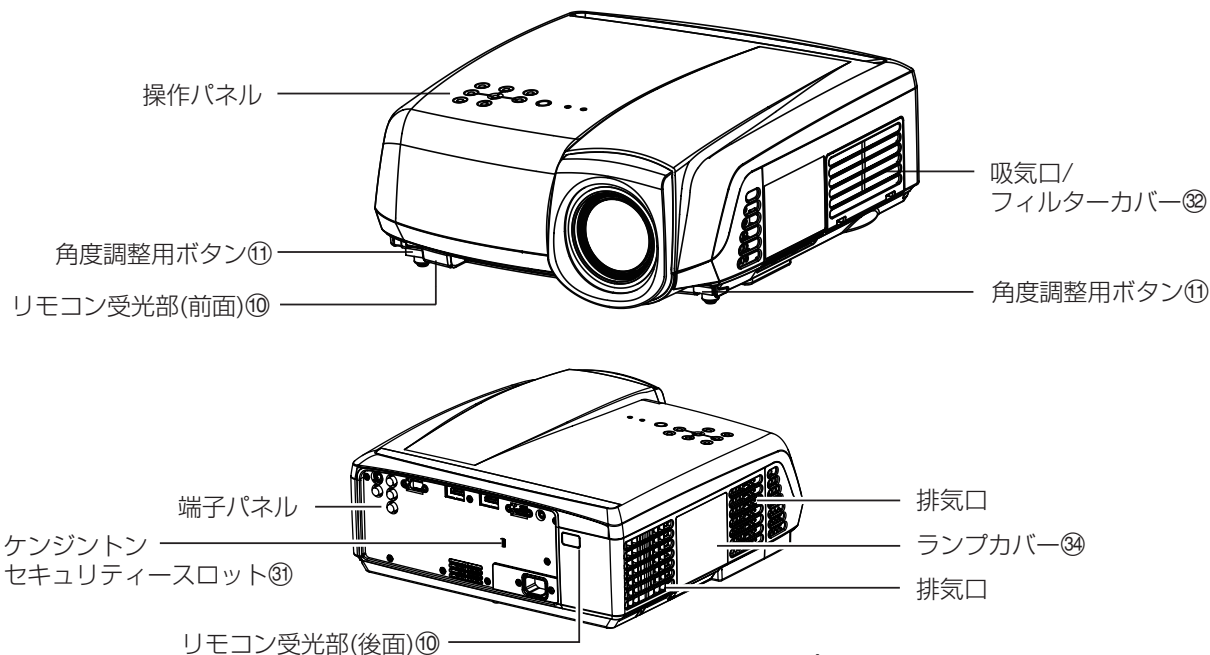
けがなどのおそれがありますので、吸、排気口に指などを入れないでください。



各部のなまえ

本体のなまえ (○は参照ページ)

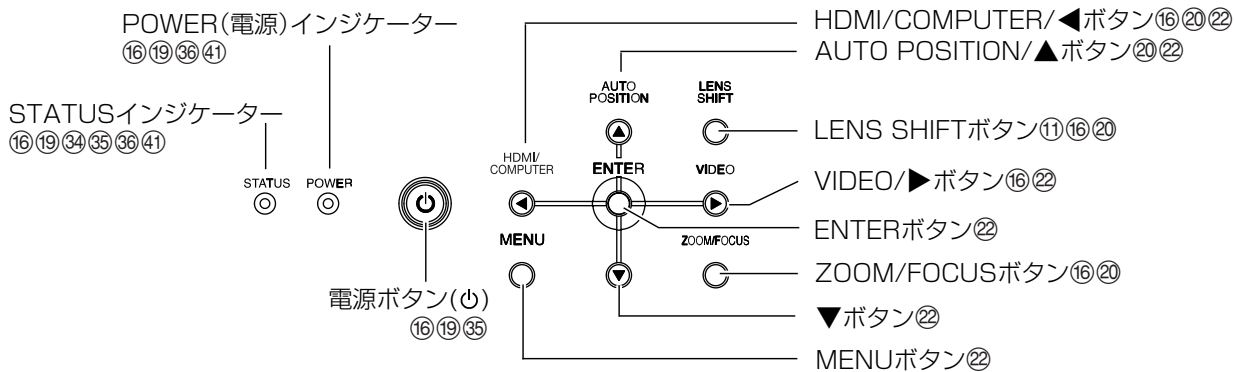
本体



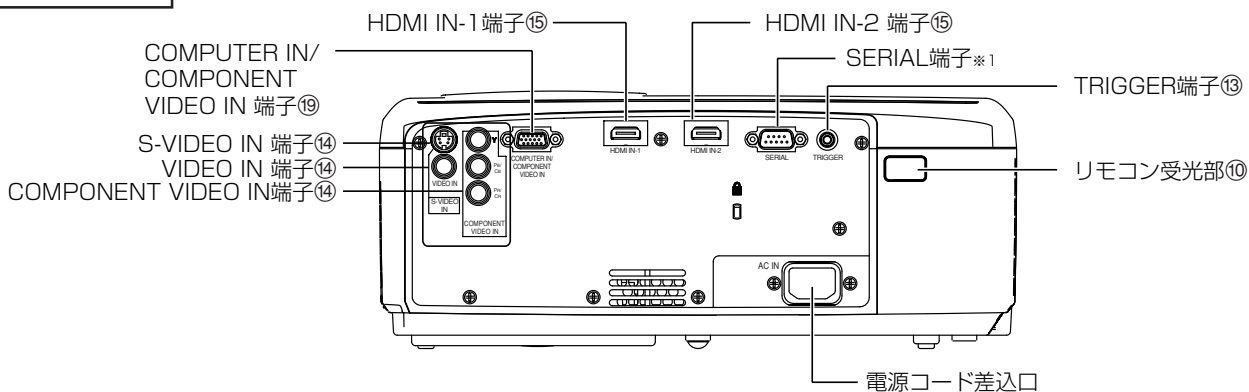
⚠ 注意

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。

操作パネル(天面)

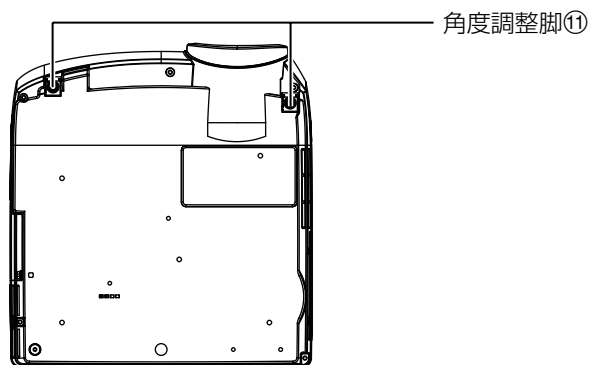


端子パネル部

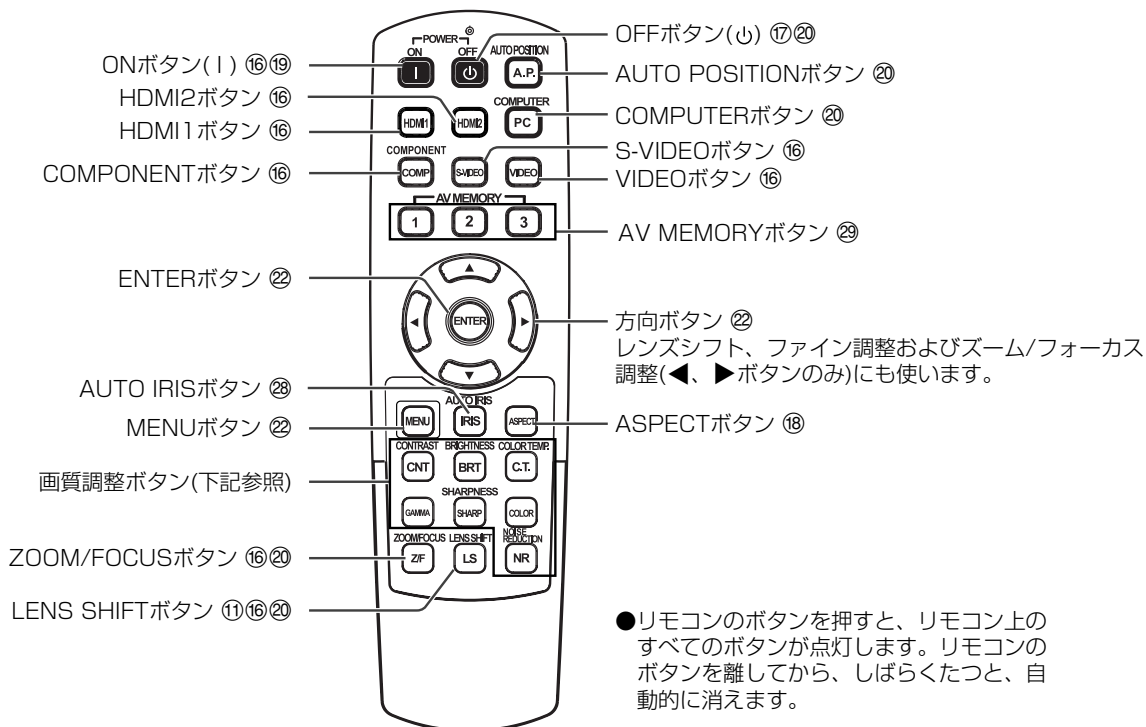


※ 1) サービスマンの調整用端子です。

底面部



リモコンのなまえ (○は参照ページ)



画質調整ボタンについて

リモコンの画質調整ボタンを使えば、簡単に画質調整が行えます。各ボタンを押すと、画質調整用の画面が右上に表示されますので、▶、◀ボタンを押して調整してください。

画質調整は、画質メニューでも調整できます。(メニュー設定については22ページ参照)

()内は、メニュー画面上での表示です。

CONTRAST(コントラスト) 画像のメリハリを調整します。▶ボタンを押すごとに映像が明るくメリハリが出ます。◀ボタンを押すごとに映像が暗くしっとりします。

BRIGHTNESS(ブライト) 画像の明るさを調整します。▶ボタンを押すごとに映像が明るくなります。◀ボタンを押すごとに映像が暗くなります。

COLOR TEMP.(色温度) あらかじめ設定された色温度の中から選択します。また、ユーザーモードの色温度調整もできます。(27ページ参照)

GAMMA(ガンマモード) あらかじめ設定されたガンマモードの中から選択します。また、ユーザーモードのガンマ調整もできます。(28ページ参照)

SHARPNESS(シャープネス) 画像のシャープネスを調整します。▶ボタンを押すごとに画像がくっきりします。◀ボタンを押すごとに画像がソフトになります。

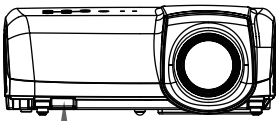
COLOR(色の濃さ) 画像の色の濃さを調整します。▶ボタンを押すごとに色が濃くなります。◀ボタンを押すごとに色が薄くなります。

NOISE REDUCTION

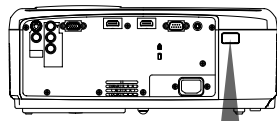
(TRNR, MNR, BAR) 3種類のノイズリダクション機能(TRNR, MNR, BAR)でノイズを低減します(28ページ参照)。

リモコンの使いかた

本体前面



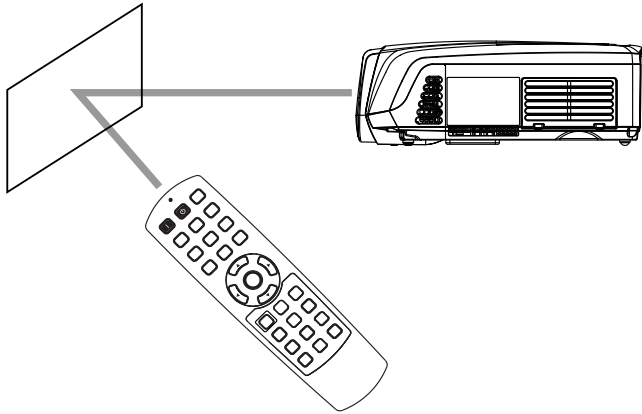
本体後面



本体のリモコン受光部
(前面または後面)に向
け、正面で約10m以
内のところから操作し
ます。



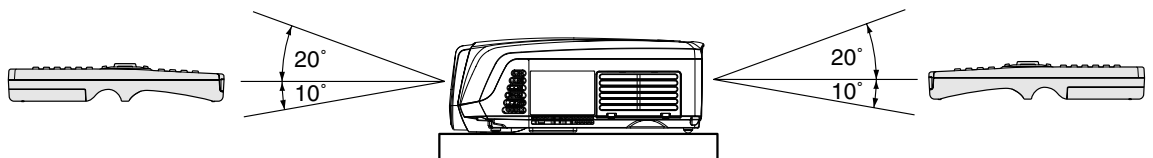
- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。
- リモコン受光部と蛍光灯は2m以上離してください。リモコンが誤動作することがあります。
- インバータ方式の蛍光灯が近くにある場合、リモコンが効きにくくなる場合があります。
- リモコンと本体を近づけすぎると、リモコンが効きにくくなる場合があります。



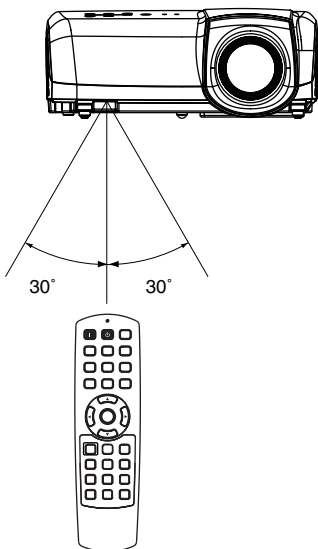
- スクリーンに向けて操作する場合、リモコンからスクリーンを通して本機までの合わせた距離が約5m以内にします。ただし、スクリーンによって操作可能範囲は異なります。

操作範囲

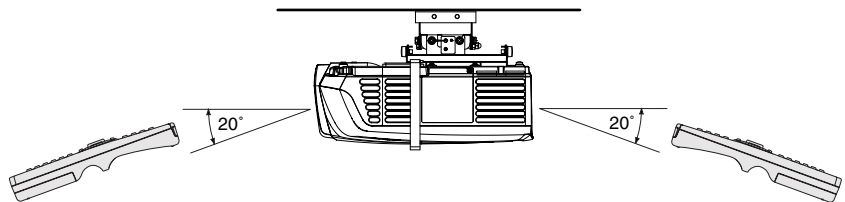
上下方向



左右方向



上下方向(天吊り時)



設置する

スクリーンの設置

スクリーンはプロジェクターに対して垂直になるように設置してください。垂直に設置できない場合は、プロジェクターの投写角度を調整してください(下記参照)。

- プロジェクターのレンズがスクリーンの中心にくるように設置してください。
- スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、投写映像が見にくくなります。

スクリーンサイズの設定について

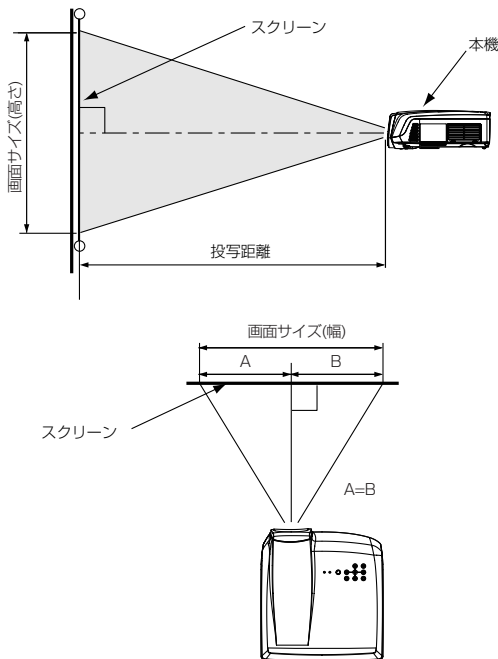
画質メニューのアドバンスドメニューでスクリーンサイズをご使用のスクリーンのサイズに合わせることで、映像の表示エリアがスクリーンからはみださないように設定できます。

スクリーンサイズを「CINEMA SCOPE(2.35:1)」に設定した場合

- シネマスコップサイズの映画を画面いっぱいに写します。
 - ビスタサイズの映像は左右小さくなって写ります。
 - オプションメニューの画角を「AUTO」に設定しているときに、480i/p、576i/p、720p、1080i/pの信号が入力された場合、字幕部分が表示されなくなります。
- 字幕を表示したい場合は、画質メニューのアドバンスドメニューでスクリーンサイズを「16:9」に戻して、映像ポジションで映像の垂直位置を調整してください。(メニューもスクリーン内に表示したい場合は信号設定メニューの詳細設定でSHUTTER(U)を下げてメニュー位置を合わせてください。)

基本的な設置

投写したい画面サイズに合わせて、スクリーンからの距離を決めます(12、13ページ参照)。



- 設置する場所については、あらかじめ4~7ページの「安全のために必ずお守りください」をお読みください。

レンズ位置を調整する(レンズシフト)

投写した映像がスクリーンからはみだすときは、設置位置を調整するか、レンズシフトでレンズ位置を調整してください。

- 1 LENS SHIFTボタンを押す
 - 画面中央にレンズシフト表示が表示されます。



- 2 ▲、▼、▶または◀ボタンを押してレンズ位置を調整する
 - ▼ボタンを押すと映像が下に移動します。
 - ▲ボタンを押すと映像が上に移動します。
 - ▶ボタンを押すと映像が右に移動します。
 - ◀ボタンを押すと映像が左に移動します。

- レンズシフト表示の表示中にENTERボタンを押すと、粗調整/微調整の切り換えができます。粗調整にすると▲、▼、▶、◀ボタンを押したときの移動量が大きくなり、微調整にすると移動量が小さくなります。
- 無信号時にレンズシフト表示を表示させると、画面全体にクロスハッチが表示されます。
- レンズシフト動作中、レンズ開口部に手などをはさまないように、注意してください。
- 上下方向のレンズ移動量が多い場合は、まれに色ずれが現れる場合があります。
- レンズシフト動作中は画面がちらつくことがあります。

投写角度を調整する

スクリーンに角度がついていて画面が台形にひずんでいるときは、以下のようにして投写角度を調整してください。

- 1 本体を投写させたい角度まで持ち上げる
 - 傾き角を前後方向に対して15°以内に設置してください(角度調整脚のみによる角度調整角は、最大7°になります)。
- 2 左右の角度調整用ボタンを押す
 - 2本の脚が飛び出します。
- 3 角度調整用ボタンおよび本体から手を離す
- 4 角度調整脚を左右に回して画面が平行になるように微調整する

角度調整脚を収納するときは

- 5 本体を手で支えながら左右の角度調整用ボタンを押してゆっくり本体を降ろす

スクリーン上の映像に縞模様が見えるときは

スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。スクリーンを交換するか、本機のフォーカスを少しずらしてみてください。(16、20ページ参照)

設置する(つづき)

画面が台形にひずむときは

スクリーンと本機が垂直になっていないと画面が台形になります。本機およびスクリーンを調整しても垂直にならないときは設置メニューの「台形補正」の設定を変更します。以下の操作を行って、設定を変更してください。

1 設置メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは22ページ参照)

2 ▲、▼ボタンを押して「台形補正」を選択する



3 ◀、▶ボタンを押して調整する



◀ボタンを押す

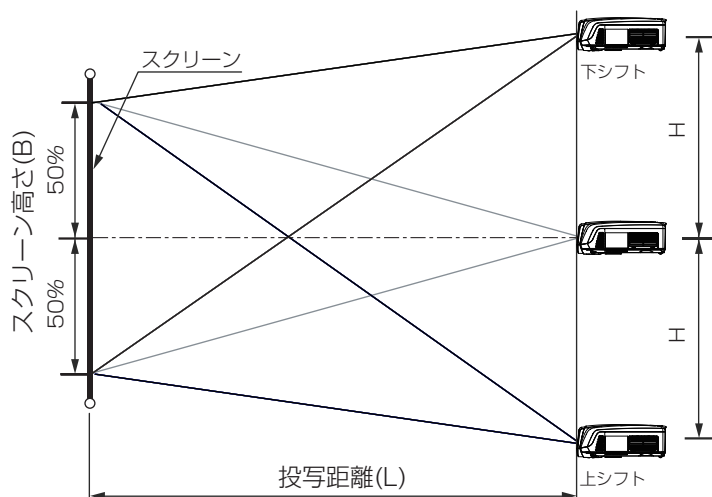
▶ボタンを押す

- 台形補正は、レンズ位置が左右方向の中央、上下方向の最上部にあるときに最適な補正が可能になります。台形補正を行うときは、あらかじめレンズシフトリセットでレンズ位置を工場出荷時の位置にもどし(24ページ参照)、レンズシフトで最上部に移動してください(11ページ参照)。
- 台形補正時には調整値が表示されますが、投写角度とは異なります。
- 本体とスクリーンの設置条件によっては、正しく長方形にならない場合や、正しいアスペクト比にならない場合があります。
- 台形補正を行うと、解像度が低下します。また、細かい模様映像での縞の発生、直線の折れ曲がりなどの現象が見られますが、故障ではありません。
- 入力信号によっては、画像が正常に表示されないことがあります。
- 台形補正を行うと映像がひずむことがあります。

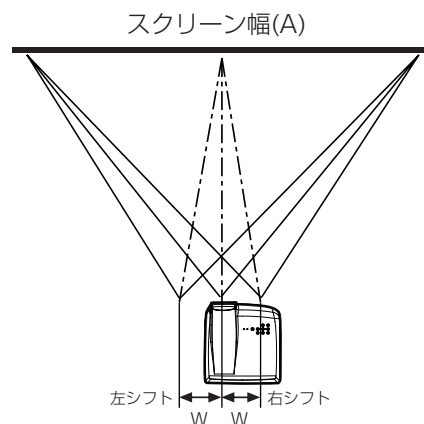
画面サイズと投写距離

下記の表を参考にスクリーンサイズを決めてください。

垂直方向



水平方向

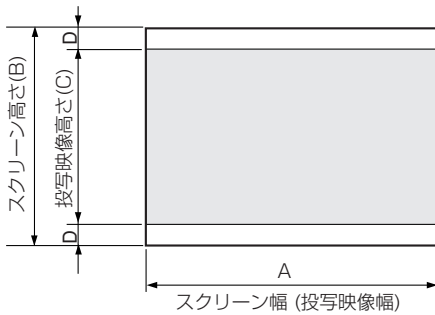


スクリーンサイズが16:9の場合(アドバンスドメニューのスクリーンサイズを16:9に設定した場合)

スクリーンサイズ			投写距離:L		レンズ可動範囲	
(形)	幅 A(cm)	高さ B(cm)	最短(m)	最長(m)	W(cm)	H(cm)
50	111	62	1.5	2.5	6	47
60	133	75	1.8	3.0	7	56
70	155	87	2.2	3.5	8	65
80	177	100	2.5	4.0	9	75
90	199	112	2.8	4.5	10	84
100	221	125	3.1	5.0	11	93
110	244	137	3.4	5.5	12	103
120	266	149	3.8	6.0	13	112
150	332	187	4.7	7.6	17	140
200	443	249	6.3	10.1	22	187
250	553	311	7.9	12.6	28	233
300	664	374	9.5	15.2	33	280

● 表示値は、実際と数%誤差が生じることがあります。

スクリーンサイズが4:3の場合

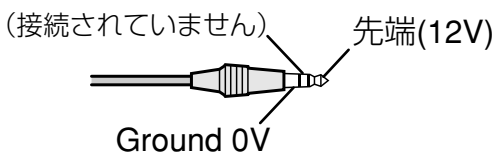
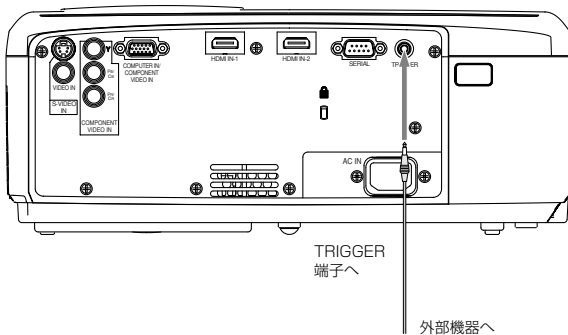


スクリーンサイズ(4:3)			投写映像サイズ(16:9)				投写距離:L		レンズ可動範囲	
(形)	幅 A(cm)	高さ B(cm)	(形)	幅 A(cm)	高さ C(cm)	D(cm)	最短(m)	最長(m)	W(cm)	H(cm)
50	102	76	46	102	57	10	1.4	2.3	5	43
60	122	91	55	122	69	11	1.7	2.7	6	51
70	142	107	64	142	80	13	2.0	3.2	7	60
80	163	122	73	163	91	15	2.3	3.7	8	69
90	183	137	83	183	103	17	2.6	4.1	9	77
100	203	152	92	203	114	19	2.9	4.6	10	86
110	224	168	101	224	126	21	3.1	5.1	11	94
120	244	183	110	244	137	23	3.4	5.5	12	103
150	305	229	138	305	171	29	4.3	6.9	15	129
200	406	305	184	406	229	38	5.8	9.3	20	171
250	508	381	229	508	286	48	7.2	11.6	25	214
300	610	457	275	610	343	57	8.7	13.9	30	257

● 表示値は、実際と数%誤差が生じることがあります。

TRIGGER端子について

プロジェクター後面のTRIGGER端子は、投写時に外部機器制御用の12Vの信号を出力する端子です。電動スクリーンなどに接続します。



TRIGGER端子を使用するためには、設置メニューのTRIGGER出力の設定をONにする必要があります。(工場出荷時にはOFFになっています。)以下の操作を行って、設定を変更してください。

- 1 設置メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは22ページ参照)
- 2 ▲、▼ボタンを押してTRIGGER出力を選択する
- 3 ◀、▶ボタンを押してONにする

⚠ 注意

- TRIGGER端子の出力を他の機器の電源などに使用しないでください。
- 他の機器の音声端子などに接続すると、他の機器の故障の原因になります。
- TRIGGER端子の定格電流は200mAです。定格を越えて使用すると故障の原因になります。
- 電動スクリーンについては、スクリーンメーカーにお問い合わせください。

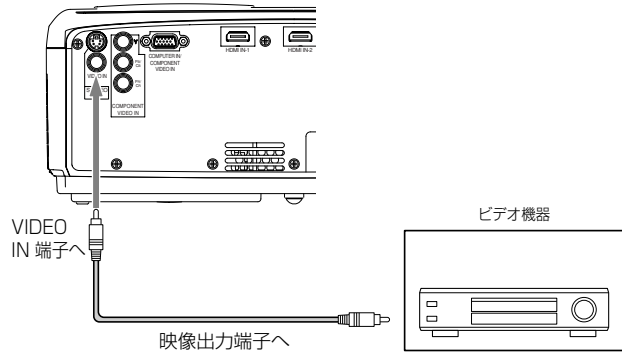
ビデオ映像を見る

A. ビデオ機器と接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてごらんください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

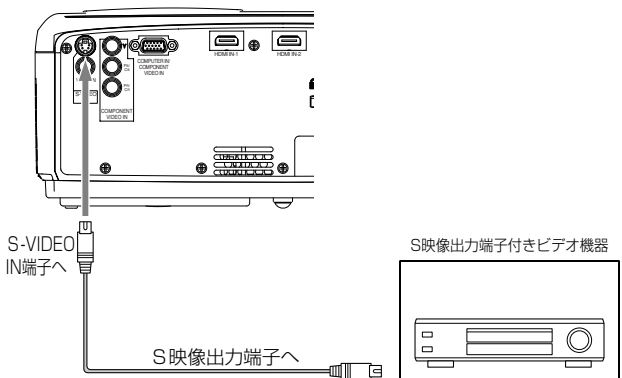
準備

- プロジェクターおよびビデオ機器の電源が切れていることを確認する



- 1 市販のビデオケーブルのプラグを本機のVIDEO IN端子に接続する
- 2 ビデオ機器の映像出力端子にビデオケーブルのもう一方のプラグを接続する

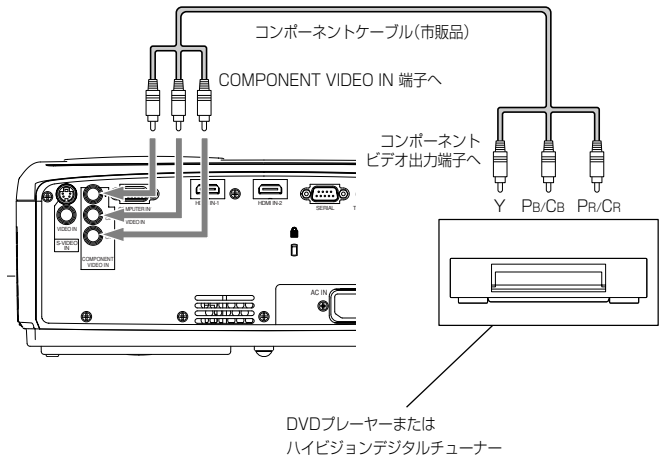
S映像出力端子付きビデオ機器と接続する



- 1 市販のSビデオケーブルを本機のS-VIDEO IN端子に接続する
- 2 ビデオ機器のS映像出力端子にSビデオケーブルのもう一方を接続する

DVDプレーヤーまたはハイビジョンデジタルチューナーと接続する

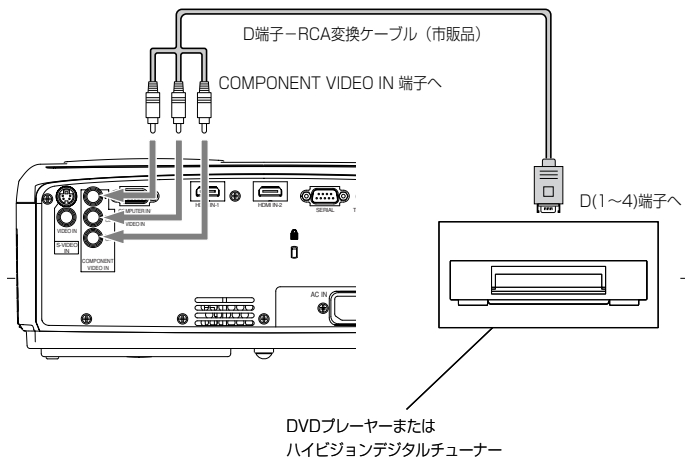
DVDプレーヤーまたはハイビジョンデジタルチューナーなど、コンポーネントビデオ出力端子を持つ機器と本機を接続するときは、COMPONENT VIDEO IN端子に接続します。



- DVDプレーヤーおよびハイビジョンデジタルチューナーによっては映像が正しく投写できない場合があります。

D端子付きDVDプレーヤーまたはハイビジョンデジタルチューナーと接続する

DVDプレーヤーまたはハイビジョンデジタルチューナーなど、D端子を持つ機器と本機を接続するときは、市販のD端子-RCA変換ケーブルを使って、COMPONENT VIDEO IN端子に接続します。



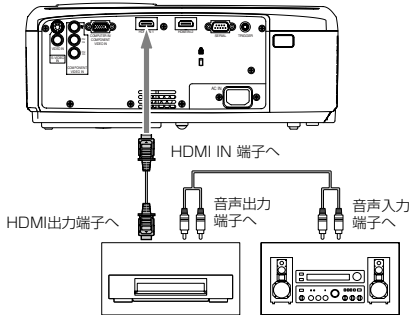
- DVDプレーヤーおよびハイビジョンデジタルチューナーによっては映像が正しく投写できない場合があります。

HDMI出力端子付き映像機器との接続

本機は、HDMI出力端子付きの映像機器と接続することにより、高画質な映像が投写できます。また、HDCPに対応していますので、DVDプレーヤーなどから出力される暗号化されたデジタル画像を受信することができます。

- HDCP(High-band with Digital Content Protection)とは、Intel社によってコンテンツ保護を目的に開発されたデジタル画像信号の暗号化形式の1つです。
- HDMI(High-Definition Multimedia Interface)とは、DVIをベースに発展した、コンピュータ、ディスプレイ、家電機器対応のデジタル信号入出力インターフェース規格です。
- 本機はHDMI出力端子付きの映像機器と接続することができますが、一部の機器では映像が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 映像が出ないなど正常に動作しない場合、映像機器の取扱説明書の接続方法を確認してください。
- HDMI規格適合品以外を使用すると正常に動作しない場合があります。
- 長いケーブルを使用すると映像が正常に映らないことがあります。

接続例 (HDMI出力端子付き映像機器の場合)



- 接続は、市販のHDMIロゴの付いているHDMIケーブルをご使用ください。
- コネクタ部の大きさ、形状によっては正しく接続できないことがあります。

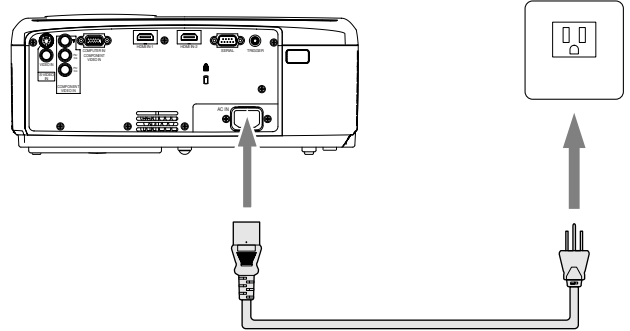
デジタル機器との接続について

本機とデジタル機器 (DVDプレーヤーなど) をHDMI IN端子で接続した場合、機器によっては映像の黒レベルが沈み、黒つぶれすることがあります。これはデジタル映像伝送の規格が2種類あり、黒レベルの設定がそれぞれ異なるためです。デジタル機器によっては異なる規格の信号を出力するものがあります。

- デジタル機器には、デジタル出力信号規格を切り換える機能が搭載されているものがあります。その場合は、下記のように切り換えてください。
エクスパンドまたはエンハンスド → ノーマル
詳細はデジタル機器の取扱説明書をご参照ください。
- デジタル機器にデジタル出力信号規格を切り換える機能が搭載されていない場合は、画質メニューのアドバンスドメニューの入力レベルの設定をご使用の機器に合わせて設定してください。

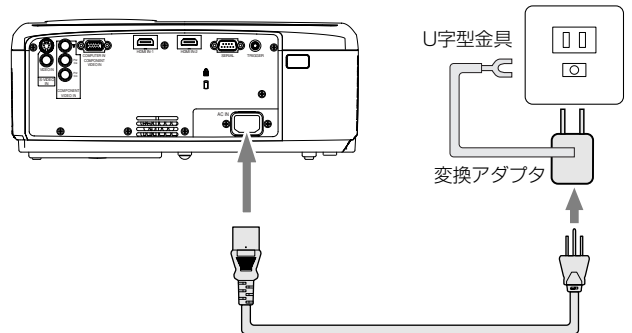
B. 電源コードを差し込む

電源コンセントにアース端子の差込口が付いている場合



- 1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する
- 2 電源コードの電源プラグを電源コンセントに差し込む

電源コンセントにアース端子の差込口が付いていない場合



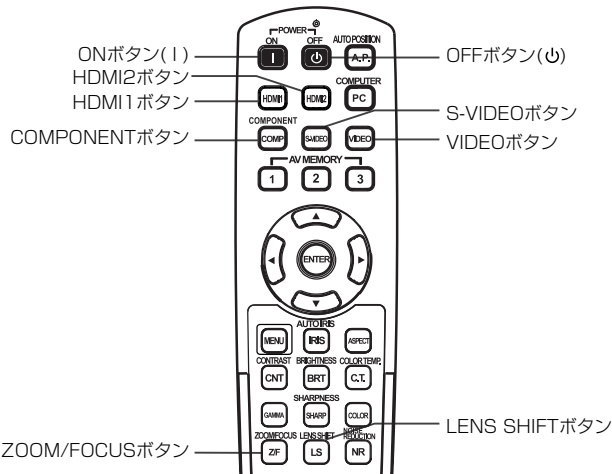
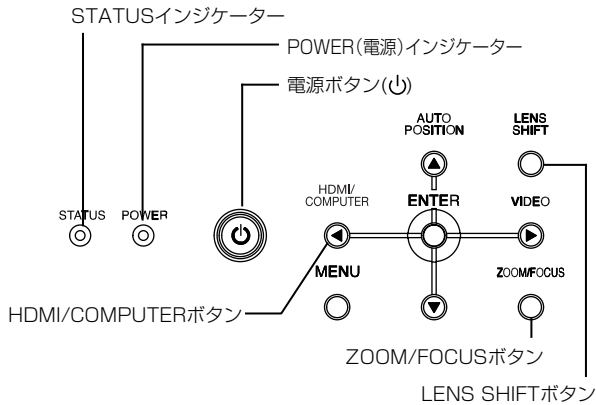
- 1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する
 - 2 電源コードの電源プラグに付属の変換アダプタを取り付ける
 - 3 変換アダプタのU字型金具を電源コンセントのアース端子に接続する(接地)
 - 4 変換アダプタを電源コンセントに差し込む
- 接地接続は必ず、変換アダプタを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず変換アダプタを電源コンセントから抜いたあとに行ってください。
 - 変換アダプタのアースをガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取り付けしないでください。
 - 電源コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください(有料)。
 - 本機の電源は、必ずアース付き交流100Vのコンセントを使用してください。

ビデオ映像を見る(つづき)

C. 投写する

準備

- レンズキャップをははずす
- ビデオ機器の電源を入れる



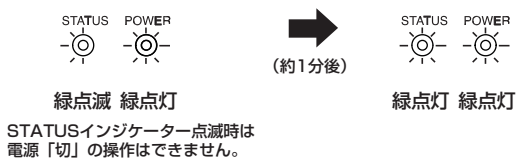
電源を入れる

- 1 POWERインジケータが赤色に点灯しているのを確認する



- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWERインジケータが赤色に点灯します。
- 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、もう一度点灯させてください。

- 2 本体の電源ボタン(I)またはリモコンのONボタン(I)を押す



- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってからもう一度点灯させてください。
- 電源を入れたあと、またはランプモードが切り換わったあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは、電源を入れたときは「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合は、約1分で「低」モードに切り換わります。
- 使用中はレンズキャップをレンズにかぶせないでください。
- レンズキャップ内側のアルミシートをはがさないでください。

ピントを調整する

- 3 本体またはリモコンのZOOM/FOCUSボタンを押して画面に「フォーカス」を表示させる
 - 4 本体またはリモコンの◀、▶ボタンを押してピントを調整する
- 「フォーカス」の表示中にENTERボタンを押すと、粗調整/微調整の切り換えができます。粗調整にすると◀、▶ボタンを押したときのピント調整の速度が速くなり、微調整にすると遅くなります。

入力を切り換える

- 5 リモコンのVIDEOボタン、S-VIDEOボタン、COMPONENTボタン、HDMI1ボタン、HDMI2ボタン、または本体のVIDEOボタン、HDMI/COMPUTERボタンを押して、接続に使った端子の入力に切り換える
- 本体のVIDEOボタンを押すごとに「VIDEO」→「S-VIDEO」→「COMPONENT」→「VIDEO」と切り換わります。
 - 本体のHDMI/COMPUTERボタンを押すごとに「COMPUTER」→「HDMI1」→「HDMI2」→「COMPUTER」と切り換わります。
 - DVDプレーヤーなど、HDCP対応のHDMI機器と接続している場合、入力切換え時などに、まれに映像が正しく表示されないことがあります。そのときは、一度他の入力に切換えてから、もう一度HDMI入力に切換えてください。
 - コンポーネントビデオ信号入力時に画面がちらつくことがあります。そのときは、信号設定メニューのファインを調整してください。
 - メニュー画面表示中は、入力切換できません。
 - 投写する映像によってはアスペクト(画角)を変更した方が見やすい場合があります(18ページ参照)。

設置する

- 6 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する
 - 7 本機とスクリーンが垂直になるように設置する
 - 8 本体またはリモコンのZOOM/FOCUSボタンを押して画面に「フォーカス」を表示させ、再度ボタンを押して「ズーム」を表示させる
 - 9 本体またはリモコンの◀、▶ボタンを押して投写画面サイズに合わせる
- 「ズーム」の表示中にENTERボタンを押すと、粗調整/微調整の切り換えができます。粗調整にすると◀、▶ボタンを押したときのズーム調整の速度が速くなり、微調整にすると遅くなります。

10 LENS SHIFTボタンを押して画面にレンズシフト表示を表示させる

11 ▲または▼ボタンを押して上下方向、◀または▶ボタンを押して左右方向を調整し画面位置を合わせる

- レンズシフト表示の表示中にENTERボタンを押すと、粗調整/微調整の切り換えができます。粗調整にすると▲、▼、▶、◀ボタンを押したときの移動量が大きくなり、微調整にすると移動量が小さくなります。
- レンズシフト動作中は、レンズ開口部に手などははさまないように、注意してください。
- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください(11ページ参照)。

必要に応じて、操作3、4および8～11の設定を微調整してください。

電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。電源プラグを抜いて電源を切った場合、ランプ性能の劣化や本体故障の原因となることがあります。

12 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのOFFボタン(⏻)を押す

- 「電源オフ時は再度電源ボタンを押してSTATUSインジケータが消えるまでクーリングしてください」のメッセージが表示されます。
- この状態を解除するには、本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのOFFボタン(⏻)以外のボタンを押してください。なお、10秒後に自動的にメッセージは消えます。

13 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのOFFボタン(⏻)をもう一度押す

- 光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケータが点滅します。

14 STATUSインジケータの緑点滅が消えるまで、約2分間そのまま待つ

- スタンバイ状態で約2分間待つのは、光源ランプを冷やすために、吸、排気ファンが回っているからです。
- STATUSインジケータが点滅中は電源プラグをコンセントから抜かないでください。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

15 電源プラグをコンセントから抜く

- POWERインジケータが消灯します。

ビデオ映像を見る(つづき)

D. アスペクト(画角)設定について

本機は、入力された映像信号に対してアスペクト比(画面の縦横比)を変更することができます。入力された映像信号に合わせて、設定を変更してください。

リモコンを使って設定する

- ASPECTボタンを押す



- ASPECTボタンを押すごとに「AUTO」→「4:3」→「16:9」→「ズーム1」→「ズーム2」→「ストレッチ」→「AUTO」と切り換わります。
- 信号の種類によって選択できないモードがあります。

本体操作パネルを使って設定する

- オプションメニューを表示させる(メニュー設定のしかたは22ページ参照)
 - ▲、▼ボタンを押して「画角」を選ぶ
- | | |
|----------|------|
| 画角 | AUTO |
| パスワードロック | キー操作 |
| メニュー位置 | 1. |
- ◀、▶ボタンを押して好みの画角(アスペクト)を選択する
 - MENUボタンを押してメニューを消す

ASPECTボタンについて

スクイーズ(左右に圧縮)された映像が記録されたDVDディスクなどを投写するとき、ASPECTボタンを押すとアスペクト比が切り換わります。

- 長時間4:3画面で使用されたあと、16:9表示で使用されると、画面の左右にマスク部分の痕跡が残る場合があります(37ページ参照)。

元画像		4:3	16:9	ズーム1	ズーム2	ストレッチ
		入力信号に合わせてアスペクト比が変わりません。	スクイーズの映像を16:9に引き延ばして投写します。	シネマスコープサイズの映像を拡大して字幕と一緒に投写します。	ピスタサイズの映像を拡大して字幕と一緒に投写します。	中央のアスペクト比はそのままで16:9で投写します。
4:3信号 NTSC, PAL, 480i/p, 576i/p ほか						
スクイーズ信号 480i/p, 576i/p						
シネマスコープ信号 480i/p, 576i/p						
ピスタ信号 480i/p, 576i/p						
16:9信号 720p, 1080i/p						

- 太枠は、おすすめモードです。
- アスペクト(画角)をAUTOに設定しているときは、入力信号に合わせて自動的に最適なアスペクト比が選ばれます。
- アスペクト(画角)をズーム1、ズーム2に設定しているとき、リモコンの▲または▼ボタンで表示位置を移動できます。
- ストレッチモードでは、信号設定メニューのオーバースキャンは動作しません。
- 画質メニューのアドバンスドメニューのスクリーンサイズの設定によって、表示が変化します。上の表は、「16:9」に設定した場合を表しています。
- 本機はアスペクト比切り換え機能を備えていますが、入力信号と異なるアスペクト比を選択されると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、元の入力信号と同じアスペクト比に設定してごらんください。
- 本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、店内外、ホテルなどにおいて、アスペクト比切り換えを利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- 画質メニューのアドバンスドメニューのスクリーンサイズを「CINEMA SCOPE(2.35:1)」に設定しているとき、画角の設定を「ストレッチ」にすることはできません。



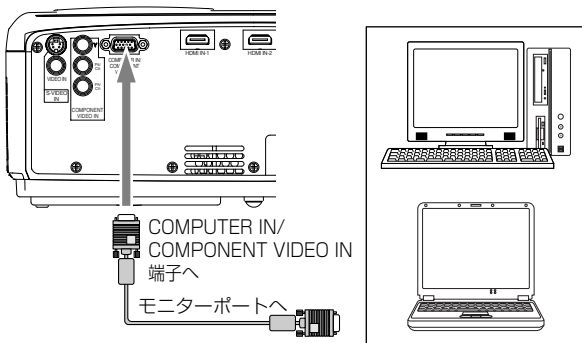
コンピュータの映像を見る

A. コンピュータと接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてごらんください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

準備

- プロジェクターおよびコンピュータの電源が切れていることを確認する
- デスクトップタイプの場合、モニターに接続されているRGB信号ケーブルをはずす



1 付属のRGB信号ケーブルを本機のCOMPUTER IN/ COMPONENT VIDEO IN端子に接続する

2 コンピュータのモニターポートにRGB信号ケーブルのもう一方を接続する

- 接続するコンピュータの機種によっては、変換コネクタやアナログRGB出力アダプタなどが必要な場合があります。
- 付属のRGB信号ケーブル以外の長いケーブルを使用すると映像が正常に映らないことがあります。
- 本機のCOMPUTER IN/COMPONENT VIDEO IN端子はDDC1/2Bに対応しています。この規格に対応したコンピュータと接続した場合、コンピュータが自動的に本機の情報を読み出し、適切な映像を出力するように設定されます。
- DDC対応のコンピュータと接続している場合、本機の電源プラグを電源コンセントに差し込んでからコンピュータを起動してください。

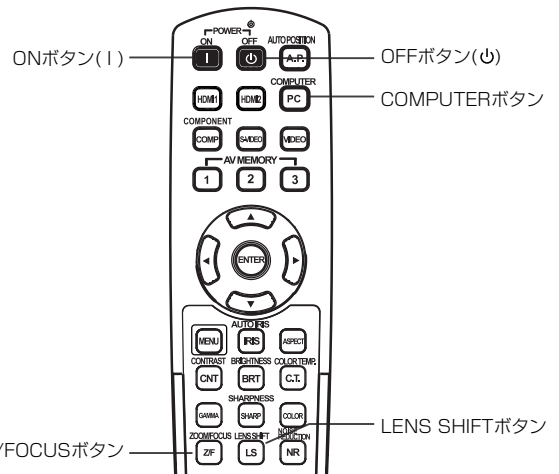
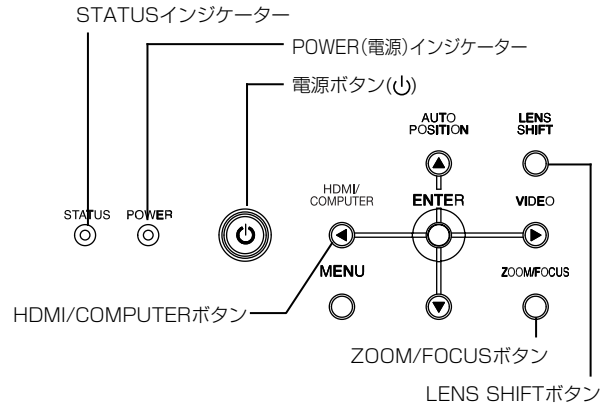
B. 電源コードを差し込む

「ビデオ機器と接続する」と同じです。15ページをごらんください。

C. 投写する

準備

- レンズキャップをはずす
- コンピュータの電源を入れる



映像を見る

コンピュータの映像を見る
ビデオ映像を見る

電源を入れる

1 POWERインジケータが赤色に点灯しているのを確認する



- 電源プラグをコンセントに接続すると、POWERインジケータが赤色に点灯します。
- 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、もう一度点灯させてください。

2 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのONボタン(I)を押す



STATUSインジケータ点滅時は電源「切」の操作はできません。

コンピュータの映像を見る(つづき)

- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってからもう一度点灯させてください。
- 電源を入れたあと、またはランプモードが切り変わったあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは、電源を入れたときは「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合は、約1分で「低」モードに切り換わります。
- 使用中はレンズキャップをレンズにかぶせないでください。
- レンズキャップ内側のアルミシートをはがさないでください。

ピントを調整する

- 3 本体またはリモコンのZOOM/FOCUSボタンを押して画面に「フォーカス」を表示させる
 - 4 本体またはリモコンの◀、▶ボタンを押してピントを調整する
- 「フォーカス」の表示中にENTERボタンを押すと、粗調整/微調整の切り換えができます。粗調整にすると◀、▶ボタンを押したときのピント調整の速度が速くなり、微調整にすると遅くなります。

入力を切り換える

- 5 リモコンのCOMPUTERボタンまたは本体のHDMI/COMPUTERボタンを押す
- 本体のHDMI/COMPUTERボタンを押すごとに「COMPUTER (RGB入力)」→「HDMI1」→「HDMI2」→「COMPUTER (RGB入力)」と切り換わります。
 - メニュー画面表示中は、入力切換できません。
 - ノートタイプのコンピュータの場合、コンピュータ側の設定を変更しないと映像が投写されない場合があります。くわしくは右下欄をごらんください。
 - 画面がちらつくときは、リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくしてください。ただし、HDMI入力時には、はたらきません。

設置する

- 6 所定の画面サイズが得られるように投写距離を調整して設置する
- スクリーンから本機までの距離は、12、13ページの表を目安にして設置してください。
- 7 本機とスクリーンが垂直になるように設置する
 - 8 本体またはリモコンのZOOM/FOCUSボタンを押して画面に「フォーカス」を表示させ、再度ボタンを押して「ズーム」を表示させる
 - 9 本体またはリモコンの◀、▶ボタンを押して投写画面サイズに合わせる
- 「ズーム」の表示中にENTERボタンを押すと、粗調整/微調整の切り換えができます。粗調整にすると◀、▶ボタンを押したときのズーム調整の速度が速くなり、微調整にすると遅くなります。
- 10 LENS SHIFTボタンを押して画面にレンズシフト表示を表示させる
 - 11 ▲または▼ボタンを押して上下方向、◀または▶ボタンを押して左右方向を調整し画面位置を合わせる
- レンズシフト表示の表示中にENTERボタンを押すと、粗調整/微調整の切り換えができます。粗調整にすると▲、▼、▶、◀ボタンを押したときの移動量が大きくなり、微調整にすると移動量が小さくなります。

- レンズシフト動作中は、レンズ開口部に手などをはさまないよう、注意してください。
- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください(11ページ参照)。

必要に応じて、操作③、④および⑧～⑪の設定を微調整してください。

電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。電源プラグを抜いて電源を切った場合、ランプ性能の劣化や本体故障の原因となることがあります。

- 12 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのOFFボタン(⏻)を押す
- 「電源オフ時は再度電源ボタンを押してSTATUSインジケータが消えるまでクーリングしてください」のメッセージが表示されます。
 - この状態を解除するには、本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのOFFボタン(⏻)以外のボタンを押してください。なお、10秒後に自動的にメッセージは消えます。
- 13 本体の電源ボタン(⏻)またはリモコンのOFFボタン(⏻)をもう一度押す
- 光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUSインジケータが点滅します。
- 14 STATUSインジケータの緑点滅が消えるまで、約2分間そのまま待つ
- スタンバイ状態で約2分間待つのは、光源ランプを冷やすために、吸、排気ファンが回っているからです。
 - STATUSインジケータが点滅中は電源プラグをコンセントから抜かないでください。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。
- 15 電源プラグをコンセントから抜く
- POWERインジケータが消灯します。

ノートタイプの場合

ノートタイプのコンピュータと接続した場合、映像が投写されない場合があります。そのときは、コンピュータの信号を外部に出力させる設定を行ってください。設定のしかたは、コンピュータによって異なりますので、コンピュータの取扱説明書をごらんください。

- 外部出力させる操作の例
「Fn」キー+「F1」～「F12」キーのいずれか(機種によって異なります)を押す。

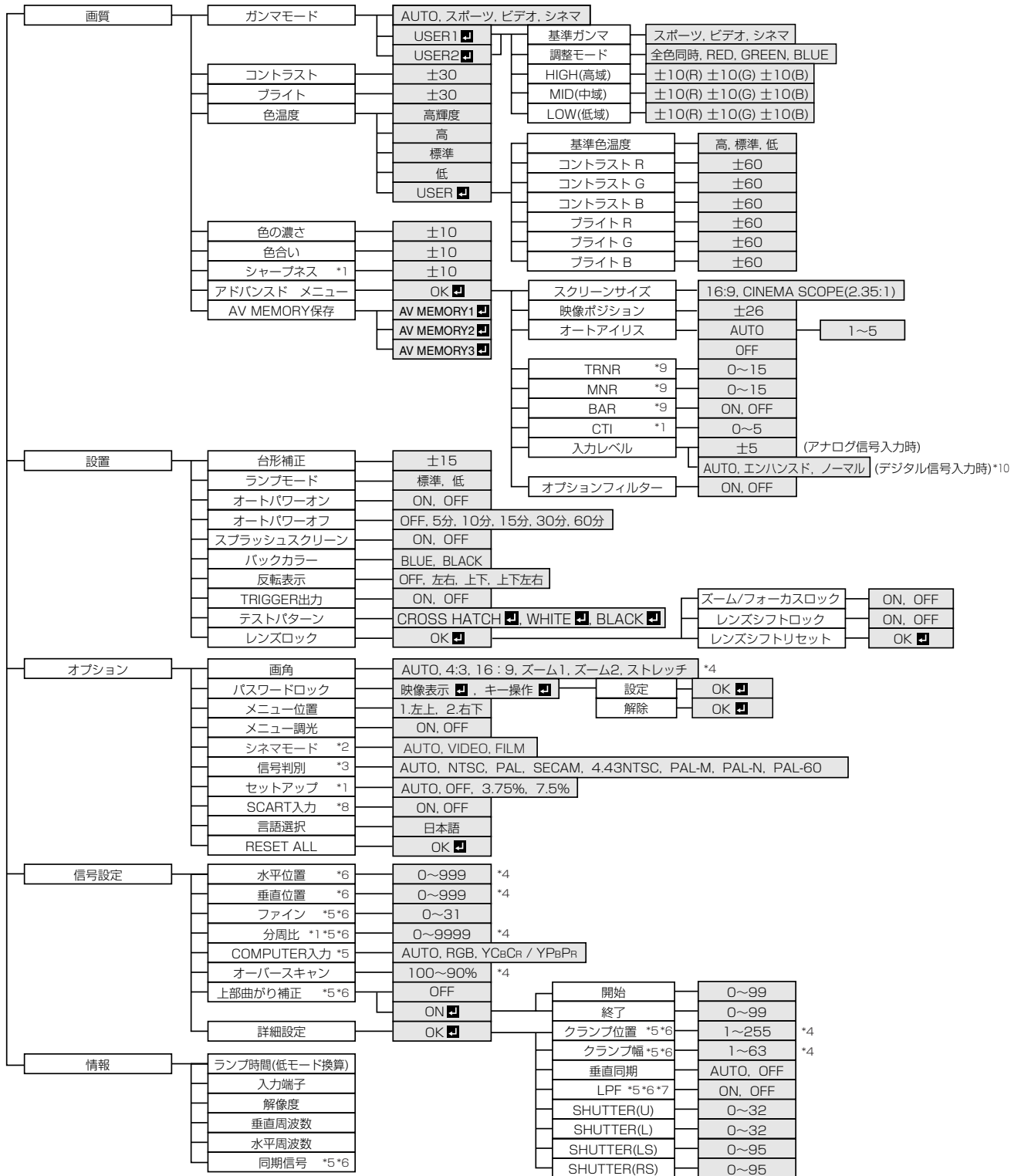
AUTO POSITIONボタンについて

コンピュータの映像がずれるときは以下の操作を行ってください。

- 1 できるだけ明るい画面(ゴミ箱などのウィンドウを全画面表示にするなど)にする。
 - 2 スクリーンセーバーがはたらいているときは、スクリーンセーバーを解除する。
 - 3 AUTO POSITIONボタンを押す。
- 入力信号に最適な設定になるように自動調整が行われます。
 - 数回、AUTO POSITIONボタンを押してもまだずれる場合は、詳細設定メニューで設定を変更して画面の位置を合わせてください(26ページ参照)。

メニューを使って設定する

メニュー遷移図



*1: 信号の種類によって、選択できないことがあります。
 *2: TV50、TV60、480i、576i、1080iの信号入力時のみ選択できます。
 *3: VIDEO IN、S-VIDEO IN端子からの信号入力時のみ選択できます。
 *4: 信号の種類によって初期値、選択範囲が異なります。
 *5: VIDEO IN、S-VIDEO IN端子からの信号入力時は選択できません。
 *6: HDMI IN端子からの信号入力時は選択できません。
 *7: 480i、480p、576i、576pの信号入力時のみ選択できます。
 *8: COMPUTER IN/COMPONENT VIDEO IN端子からの信号入力時のみ選択できます。
 *9: TV50、TV60、480i、480p、576i、576pの信号入力時のみ選択できます。
 *10: 出力機器側がRGB出力の設定時にのみ表示されます。

● メニュー画面上的「」マークのある項目は、確定するためには項目を選んでからENTERボタンを押す必要があります。

映像を見る

設定・調整する

メニューを使って設定する
コンピュータの映像を見る

メニューを使って設定する(つづき)

メニュー設定のしかた

画面はオートパワーオンの設定を例として説明しています。

1 MENUボタンを押す

- メニュー選択バーが表示されます。



2 ◀、▶ ボタンを押して表示させたいメニューを選ぶ

- ◀、▶ ボタンを押すごとに「画質」⇄「設置」⇄「オプション」⇄「信号設定」⇄「情報」⇄「画質」と切り換わります。



3 ENTERボタン(または▼ボタン)を押す

- 希望のメニューが表示されます。



4 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ



5 ◀、▶ ボタンを押して設定する



メニューを消すときは






6 MENUボタンを数回押す

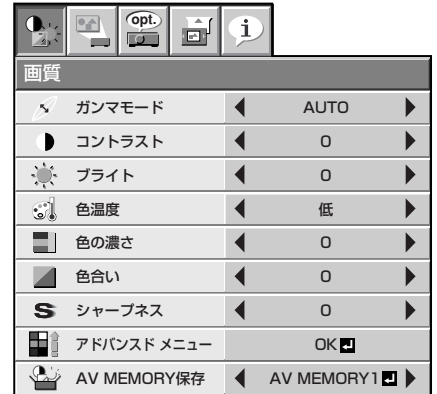
- 信号設定メニューおよび詳細設定メニューの調整は、外部からの信号が入力されている状態でのみ行うことができます。
- ボタンを押しても、メニュー画面の操作ができないことがあります。この場合、誤動作している可能性があります。このときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続してください。
- メニュー画面、画面表示など、本書と製品で異なることがあります。

メニューで設定できること

本機では、以下の設定はメニュー画面を表示させて行います。

画質メニュー

設定項目	設定	はたらき
ガンマモード	AUTO	入力信号に合わせて自動的に最適なガンマモードが選ばれます。
	スポーツ	スポーツなどに適した明るいモードです。
	ビデオ	ビデオ映像など標準的なモードです。
	シネマ	映画館のように部屋を暗くして映画を鑑賞するモードです。
	USER1  , USER2 	ガンマカーブをお好みに調整します(28ページ参照)。
コントラスト	-30~30	映像のコントラストを調整します(27ページ参照)。
ブライト	-30~30	映像の明るさを調整します(27ページ参照)。
色温度	高輝度	輝度を重視したモードです。
	高/標準/低	あらかじめ設定された色温度の中から選択します。色温度の目安は、高:約9300K, 標準:約6500K(D65), 低:約5800Kです。
	USER 	独自の色温度に調整します(27ページ参照)。
色の濃さ	-10~10	映像の色の濃さを調整します(27ページ参照)。
色合い	-10~10	映像の色合いを調整します(27ページ参照)。
シャープネス	-10~10	映像の鮮鋭度を調整します(27ページ参照)。
アドバンスドメニュー	OK 	ENTERボタンを押すとアドバンスドメニューが表示されます。
AV MEMORY保存	AV MEMORY 1, 2, 3 	画質メニューの設定を記録するときに選びます(29ページ参照)。



● 画質メニューは、AVメモリー機能により各入力端子ごとに3種類まで設定を記録することができます。(29ページ参照)

アドバンスドメニュー





設定項目	設定	はたらき
スクリーンサイズ	2種類	スクリーンのサイズに合わせて選択します(11ページ参照)。
映像ポジション	-26~26	表示映像の投写位置(高さ)を調整します。
オートアイリス	AUTO, OFF	オートアイリスの動作モードを選択します(28ページ参照)。
TRNR	0~15	ランダムノイズを低減します(28ページ参照)。
MNR	0~15	モスキートノイズを低減します(28ページ参照)。
BAR	ON, OFF	ブロックノイズを低減します(28ページ参照)。
CTI	0~5	色境界部分の色にじみを改善します。
入力レベル	-5~5	【アナログ信号入力時】 接続する機器によっては、映像信号が大きいもの(白つぶれする)や小さいもの(暗くなる)があります。このメニューでアナログ映像信号の大きさを調整することができます。
	AUTO, インハンスド, ノーマル	【デジタル信号入力時】 AUTO: 自動的に最適な設定が選ばれます。 インハンスド: AUTOで黒つぶれが発生するときに選びます。 ノーマル: AUTOで黒浮きが発生するときに選びます。(15ページ参照)
	オプションフィルター	別売りのオプションフィルター(39ページ参照)をレンズに装着したとき、ONに設定します。オプションフィルターに合わせて色温度が補正されます。



● デジタル信号入力時、接続機器からの信号がYCbCr/YpPrで出力している場合、入力レベルは選択できません。

メニューを使って設定する(つづき)

設定メニュー

設定項目	設定	はたらき
台形補正	±15	上下方向の台形歪みを補正するときに使用します。
ランプモード	標準 低	明るい部屋で使用する場合に選びます。ランプの明るさを抑えるモードです。動作音が小さくなり、光源ランプの交換に至るまでの時間が長くなります。
オートパワーオン	OFF ON	通常はこれを選びます。 電源プラグをコンセントに接続したとき、自動的に電源が入ります。天吊り時などに設定します。
オートパワーオフ	OFF 5分,10分,15分,30分,60分	オートパワーオフは、はたらきません。映像信号が未入力するとき、設定した時間になると自動的に電源が切れます。
スプラッシュスクリーン	ON OFF	電源を入れたとき、スプラッシュスクリーン(起動画面)を表示します。 スプラッシュスクリーン(起動画面)を表示しません。
バックカラー	BLUE, BLACK	無信号時の背景の色を選択します。
反転表示	OFF 左右 上下 上下左右	床置きで正面から映像を見るときに選びます、通常はこれを選びます。 床置きでスクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。 天吊りして、スクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。 天吊りして、正面から映像を見るときに選びます。
TRIGGER出力	ON, OFF	ONにすると、ランプ点灯時、TRIGGER端子よりトリガ出力(12V)を出力します。
テストパターン	CROSS HATCH  WHITE  BLACK 	クロスハッチのテストパターンを表示します。 最大輝度の映像を表示します。 最小輝度の映像を表示します。
レンズロック		
ズーム/フォーカスロック	ON, OFF	ズームとフォーカスをロックします。
レンズシフトロック	ON, OFF	レンズシフトをロックします。
レンズシフトリセット	OK 	ENTERボタンを押すと、レンズ位置を工場出荷時の位置にもどします。



- ランプモードは、電源を入れたときは「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合は、約1分で「低」モードに切り換わります。
- ランプモードを切り換えたとき、映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは頻繁に切り換えないでください。
- テストパターン表示中、いずれかのボタンを押すと、テストパターンは解除されます。

オプションメニュー

設定項目	設定	はたらき
画角(18ページ参照)	AUTO	入力信号に合わせて自動的に最適なアスペクト比が選ばれます。
	4:3	4:3のアスペクト比のときに選びます。
	16:9	16:9のアスペクト比のときに選びます。(リニア)
	ズーム1	シネマスコopサイズのときに選びます。
	ズーム2	ピスタサイズのときに選びます。
ストレッチ	4:3の画像を16:9に引き伸ばすときに選びます。(ノンリニア)	
パスワードロック		パスワードロック機能のモード切り換えおよびパスワードの設定、解除に使用します(30ページ参照)。
メニュー位置	1.(左上), 2.(右下)	メニューの表示位置を切り換えます。
メニュー調光	OFF, ON	メニュー画面が明るすぎるとき、ONにします。通常はOFFを選択します。
シネマモード	AUTO	フィルム映像信号を入力したとき、自動的にフィルムモード処理を行います。通常はAUTOに設定します。 画面にちらつきが出たり、コマ落ちなどの不自然な動作をしたり、斜め線のがたつきが大きい場合は、VIDEOまたはFILMモードのいずれかが適する設定に切り換えてください。
	VIDEO	フィルムモード処理は行いません。
	FILM	強制的にフィルムモードに設定します。
信号判別	AUTO, NTSC, PAL他	ビデオ信号のカラー方式を選択します(通常はAUTOに設定します)。
セットアップ	AUTO	通常はAUTOに設定します。信号モードが480i, 480p, TV60の場合、OFFになります。
	OFF	国内盤のLDやDVDの映像を見るときに選択します。
	3.75%, 7.5%	米国盤のLDやDVDの映像を見るときに選択します。
SCART入力	OFF, ON	欧州などで使用されているSCART端子付の機器と接続するときはONにします。通常はOFFを選択します。
言語選択	日本語	本機は日本語のみ対応しています。
RESET ALL	OK	ENTERボタンを押すと、メニュー画面の設定をすべて工場出荷時の値に戻します(パスワードロックを除く)。



- 画質メニューのアドバンスドメニューのスクリーンサイズを「CINEMA SCOPE(2.35:1)」に設定しているとき、画角の設定を「ストレッチ」にすることはできません。
- 信号判別の設定を「AUTO」にしているとき、正常に色がつかないことがあります。そのときは、入力信号に合わせた方式に設定してください。
- SCART入力の設定を「ON」にしているとき、通常のコンピュータ信号は映りません。
- RESET ALLには、少し時間がかかることがあります。

信号設定メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。

設定項目	設定	はたらき
水平位置	0~999	映像の表示位置を左右に動かします。
垂直位置	0~999	映像の表示位置を上下に動かします。
ファイン	0~31	映像にちらつきやぼけが出たときに、画面を見ながら調整します。
分周比	0~9999	映像に幅広のしま模様が出たときに、画面を見ながら調整します。
COMPUTER入力	AUTO	自動的に最適な値に設定します。
	RGB	R,G,B出力端子を持つハイビジョン機器と接続するときは、こちらに合わせます。
	Y _{Cb} C _r /Y _{Pb} P _r	Y, C _b , C _r コンポーネントビデオ出力端子を持つDVDプレーヤーまたはY, P _b , P _r コンポーネントビデオ出力端子を持つハイビジョンデジタルチューナーなどと接続するときに設定します。DVDプレーヤーなどで480p(525p)信号を入力するときは、こちらに合わせます。
オーバースキャン	100~90%	LDやDVDなどの映像を見るときにの投射映像の表示領域を調整します。
上部曲がり補正	OFF	上部曲がりに対する調整を行いません。
	ON	画面に上部曲がりがおこったときに調整します。
詳細設定	OK	ENTERボタンを押すと詳細設定メニューが表示されます。



- ビデオ信号などでオーバースキャン率を大きく設定すると画面にノイズが表示されることがあります。その場合は設定値を下げてください。
- VIDEOまたはS-VIDEO入力時、一部の信号では、オーバースキャンの調整はできません。

メニューを使って設定する(つづき)

詳細設定メニュー

※外部信号が入力されていないと調整はできません。通常は、さわらないでください。

設定項目	設定	はたらき
クランプ位置	1~255	投写画面が白くつぶれたり黒くつぶれたりするときに調整します。
クランプ幅	1~63	投写画面が黒くつぶれるときに調整します。
垂直同期	AUTO OFF	通常はこちらに合わせます。 映像の動きが不自然なときに合わせます。
LPF	ON, OFF	プログレッシブフィルターをはたらかせるかどうかを選択します。
SHUTTER(U)	0~32	画面の上に黒幕を出す場合に調整します。
SHUTTER(L)	0~32	画面の下に黒幕を出す場合に調整します。
SHUTTER(LS)	0~95	画面の左に黒幕を出す場合に調整します。
SHUTTER(RS)	0~95	画面の右に黒幕を出す場合に調整します。



LPF(プログレッシブフィルター)について

ご使用になるDVDプレーヤーによっては画面の縦、横方向に薄いスジ状のノイズが現れる場合があります。この場合、LPFをONにすることによりプログレッシブフィルターがはたらき、これらのスジ状のノイズを軽減することができます。ただし、映像の鮮鋭度は弱くなります。

情報メニュー

設定項目	内容
ランプ時間(低モード換算)	ランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプ使用時間が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ● ランプモードを「標準」にして使用した場合、実際に使用した時間よりも長く表示されます。 ● ランプ使用時間が10時間以内の場合、0Hが表示されます。10時間を超えると、1時間単位で表示されます。 ● ランプ使用時間が3750時間を超えた場合、バーは黄色になります。4750時間を超えた場合、赤色になります。
入力端子	現在投写中の入力端子名が表示されます。
解像度	現在投写されている映像信号の解像度が表示されます。
垂直周波数	現在投写されている映像信号の垂直周波数が表示されます。
水平周波数	現在投写されている映像信号の水平周波数が表示されます。
同期信号	現在投写されている映像信号の同期信号形式が表示されます。



映像を調整する

映像の明るさを調整する(コントラスト、ブライト)

メニューを使って映像の明るさに関する調整をします。

- 1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは22ページ参照)
- 2 ▲、▼ボタンを押す
 - 「コントラスト」または「ブライト」を選びます。



- 3 ◀、▶ボタンを押して調整する
 - コントラスト ▶ボタンを押すごとに映像が明るくメリハリが出ます。◀ボタンを押すごとに映像が暗くしっとりします。
 - ブライト ▶ボタンを押すごとに映像が明るくなります。◀ボタンを押すごとに映像が暗くなります。

白の色合いを調整する(色温度の詳細設定)

メニューを使って色温度(白の色合い)に関する調整をします。

- 1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは22ページ参照)
- 2 ▲、▼ボタンを押して「色温度」を選ぶ
- 3 ◀、▶ボタンを押して「USER」を選ぶ
- 4 ENTERボタンを押す
 - 色温度の詳細メニューが表示されます。

色温度-USER	
基準色温度	標準
▶ コントラスト R	◀ 0 ▶
▶ コントラスト G	◀ 0 ▶
▶ コントラスト B	◀ 0 ▶
☀️ ブライト R	◀ 0 ▶
☀️ ブライト G	◀ 0 ▶
☀️ ブライト B	◀ 0 ▶

- 5 ▲、▼ボタンを押して「基準色温度」を選ぶ
- 6 ◀、▶ボタンを押して基準となる色温度の設定(「高」、「標準」または「低」)を選ぶ
- 7 ▲、▼ボタンを押して調整したい項目を選ぶ
- 8 ◀、▶ボタンを押して調整する
- 9 操作7、8を繰り返して調整する
 - 別売りのオプションフィルターを装着している場合は、アドバンスドメニューの「オプションフィルター」を「ON」に設定してください。(23ページ参照)

色温度について

同じ白色といっても、いろいろの程度があります。白さの程度を表す方法のひとつに色温度があります。色温度の低い白色は赤みがかった白色となり、色温度の高い白色は青みがかった白色となります。たとえば、下記のように設定することで色温度を設定することが可能です。

色温度を高くするには、コントラストB(青)の数値を大きく、コントラストR(赤)の数値を小さく設定します。
色温度を低くするには、コントラストB(青)の数値を小さく、コントラストR(赤)の数値を大きく設定します。
● コントラストR、G、Bをすべてマイナスに設定すると、画質メニューのコントラストの設定を最大にしても、本来の明るさが出なくなりますので注意してください。

色を調整する(色の濃さ、色合い)

メニューを使って映像の色に関する調整をします。

- 1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは22ページ参照)
- 2 ▲、▼ボタンを押す
 - 「色の濃さ」または「色合い」を選びます。



- 3 ◀、▶ボタンを押して調整する
 - 色の濃さ ▶ボタンを押すごとに色が濃くなります。◀ボタンを押すごとに色が薄くなります。
 - 色合い ▶ボタンを押すごとに肌色が緑がかります。◀ボタンを押すごとに肌色が紫がかります。

映像をくっきりさせたり、ソフトにする(シャープネス)

メニューを使って映像の鮮鋭度に関する調整をします。

- 1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは22ページ参照)
- 2 ▲、▼ボタンを押して「シャープネス」を選ぶ
- 3 ◀、▶ボタンを押して調整する
 - 信号の種類によって、選択できないことがあります。



映像を調整する(つづき)

映像を光学的に明るくさせたり、暗くする(オートアイリス)

アイリスとは、ランプの絞りを開閉することによって、光学的にコントラストを調整する機能です。本機は、アイリスに関して以下の2つのモードを用意しています。

AUTO

表示されている映像に合わせてアイリスを自動的に調整します。

AUTOモードでは、1~5の5段階で、暗いシーンの明るさを調整することができます。(数値が大きくなるほど明るくなります。通常は1にします。)

ランプを長時間使用して暗くなった場合の調整にも有効です。

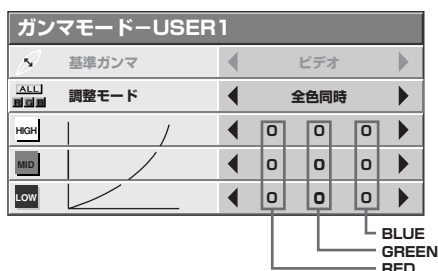
OFF

アイリスを全開の状態に固定します。

明るさの変化の割合を調整する(ガンマモードの詳細設定)

メニューを使ってガンマモードに関する調整をします。

- 1 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは22ページ参照)
- 2 ▲、▼ボタンを押して「ガンマモード」を選ぶ
- 3 ◀、▶ボタンを押して「USER1」または「USER2」を選ぶ
- 4 ENTERボタンを押す
 - ガンマモードの詳細メニューが表示されます。



- 5 ▲、▼ボタンを押して「標準ガンマ」を選ぶ
- 6 ◀、▶ボタンを押して基準となるガンマカーブを選ぶ
- 7 ▲、▼ボタンを押して「調整モード」を選ぶ
- 8 ◀、▶ボタンを押して設定したいガンマモード(全色同時, RED, GREEN, BLUE)を選ぶ
 - RED, GREEN, BLUEを同時に調整するか、独立で調整するかを選択します。
- 9 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ
 - HIGH 明るいシーンの階調を調整します。
 - MID 中間的な明るさのシーンの階調を調整します。
 - LOW 暗いシーンの階調を調整します。

10 ◀、▶ボタンを押して設定する

11 操作 9、10 を繰り返して設定する

- 映像によっては、変化がわかりにくいことがあります。

ノイズを減少させる(ノイズリダクション)

本機には以下の3つのノイズリダクション機能があります。

TRNR(テンポラル・リカーシブ・ノイズ・リダクション;時間軸循環系ノイズリダクション)

映像にチラチラと現れるランダムノイズを低減させます。

MNR(モスキート・ノイズ・リダクション)

DVDプレーヤーなどの映像の輪郭部分に発生するモスキートノイズを低減させます。

BAR(ブロック・アーティファクト・リムーバル)




DVDプレーヤーなどの映像に発生するモザイク状のブロックノイズを低減させます。

- 720p, 1080i, 1080pおよびコンピュータからの信号には対応していません。

AVメモリー

本機は、画質メニューの設定を各入力端子ごとに、最大3種類まで記録することができます。

設定を記録するには

- 1 画質メニューの項目を設定する
 - リモコンの画質調整ボタンを使って設定しても有効です。
- 2 ▲、▼ボタンを押して「AV MEMORY保存」を選ぶ
- 3 ◀、▶ボタンを押して「AV MEMORY1」、「AV MEMORY2」または「AV MEMORY3」を選ぶ
- 4 ENTERボタンを押す
 - 設定した内容が記録されます。

記録した設定の画質にするには

- 1 設定を記録したAV MEMORY(1, 2または3)ボタンを押す
 - 設定した画質の映像になります。
- 入力の切り換え時には、自動的に前回選択したAVメモリーが選択されます。
 - オプションメニューのRESET ALLを選択すると、AVメモリーの設定はすべてクリアされます。
 - 記録した設定を呼び出したあと、設定を変更すると、変更内容は保たれます。ただし、AV MEMORYの内容はAV MEMORY保存を行わない限り、変更されません。


コンピュータ映像の調整

本機は、コンピュータからの映像の信号に合わせて自動的に適切な信号形式に設定しますが、コンピュータの種類によっては、正しく投写できない場合があります。そのときは、AUTO POSITIONボタンを押してください(20ページ参照)。それでも正しく投写されないときは、メニュー画面を使って投写されるコンピュータ映像を調整してください。

メニュー画面を使ったコンピュータ映像の調整のしかた

次のような症状のときは、以下のように調整してください。

- **投写画面が左右にずれる**
信号設定メニューの水平位置を調整します。◀ボタンを押すごとに映像が右にずれます。▶ボタンを押すごとに映像が左にずれます。
- **投写画面が上下にずれる**
信号設定メニューの垂直位置を調整します。◀ボタンを押すごとに映像が下にずれます。▶ボタンを押すごとに映像が上にずれます。
- **投写画面がちらつく、ぼける**
信号設定メニューのファインを調整します。
- **幅広のしま模様が出る**
信号設定メニューの分周比を調整します。
- **画面が白く(または黒く)つぶれる**
信号設定メニューの詳細設定メニューの中のクランプ位置またはクランプ幅を調整します。

- **画面の左右にノイズなどが出る**
信号設定メニューの中の詳細設定メニューのSHUTTER(LS)またはSHUTTER(RS)を調整します。
- **画面の上下にノイズなどが出る**
信号設定メニューの中の詳細設定メニューのSHUTTER(U)またはSHUTTER(L)を調整します。
- **画面に上部曲がりがおこる**
信号設定メニューの上部曲がり補正の設定を変更します。設定を「ON」にしてENTERボタンを押し、「開始」および「終了」の値を調整して最も上部曲がりを少なくします。
- **映像の動きが不自然**
信号設定メニューの中の詳細設定メニューの垂直同期を調整します。通常は「AUTO」に設定してください。
※ 信号設定メニューの中の詳細設定メニューの設定は通常、変更しないでください。

簡単な画面位置調整のしかた(AUTO POSITIONボタンで調整できない場合)

水平位置の調整:

- 1 水平位置を調整して映像の左端を合わせ、分周比を調整して右端を合わせる。
- 2 操作 1 を繰り返し、水平位置の調整を行う。

垂直位置の調整:

- 3 垂直位置を調整して映像の上端を合わせる。

パスワードを設定する

本機はパスワードロック機能により、お子さまによる誤操作防止および特定者以外による操作を制限することなどができます。

映像表示

電源を入れたとき、起動画面(スプラッシュ画面)が表示されたままになります。パスワードを入力することにより、通常の画面に切り換わります。

キー操作

本体の電源ボタン以外のボタン操作ができなくなります(リモコンのボタン操作はできます)。お子様による誤操作防止や特定者以外による操作の制限ができます。

パスワードロックの設定のしかた

1 オプションメニューを表示させる(メニュー設定のしかたは22ページ参照)

2 ▲または▼ボタンを押してパスワードロックを選択する

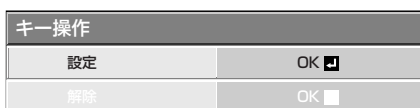


3 ◀または▶ボタンを押してモード(映像表示またはキー操作)を切り換える

- すでにパスワードが設定されているときは、モードは切り換わりません。そのときは、ENTERボタンを押して、パスワードロック機能を解除してから設定し直してください。

4 ENTERボタンを押す

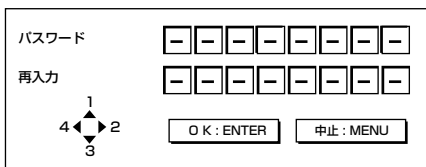
- パスワードロック画面(設定用)が表示されます。



- すでにパスワードが設定されているときは、パスワードロック機能を解除してから設定し直してください。

5 ENTERボタンを押す

- パスワード入力画面が表示されます。



6 ▲、▼、◀または▶ボタンを押して4~8桁のパスワードを入力する

(▲=1, ▶=2, ▼=3, ◀=4)

7 ENTERボタンを押す

8 同様に再入力欄にパスワードと同じ数字を設定する

9 ENTERボタンを押す

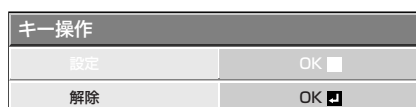
- 再入力欄の数字とパスワードが一致しない場合は、エラーメッセージが表示されます。
- パスワード設定を取り消したいときは、MENUボタンを押します。

パスワードロックの解除のしかた

1 オプションメニューを表示させる(メニュー設定のしかたは22ページ参照)

2 ▲または▼ボタンを押してパスワードロックを選択する

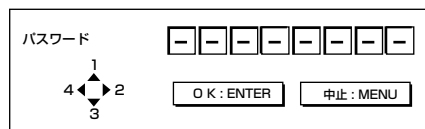
3 ENTERボタンを押す



- パスワードロック画面(解除用)が表示されます。

4 ENTERボタンを押す

- パスワード入力画面が表示されます。



5 ▲、▼、◀または▶ボタンを押して4~8桁のパスワードを入力する

(▲=1, ▶=2, ▼=3, ◀=4)

6 ENTERボタンを押す

- 誤ったパスワードを入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。
- パスワード解除を取り消したいときは、MENUボタンを押します。

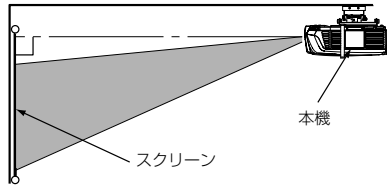
パスワードを忘れたときは

本体操作パネルのMENUボタンおよびENTERボタンを同時に3秒以上押して、パスワードを解除してください。

設置工事を依頼するときは

天吊りして正面から映像を見る場合

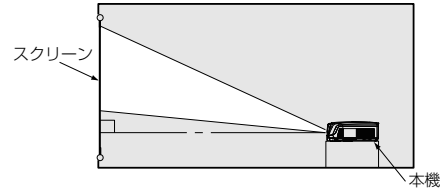
天吊りにする場合は、別売の天井用取付金具(高天井用ポール、天井用取付金具ベースなど:専用品)(39ページ参照)を使用してください。また、設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは販売店にご相談ください。



- 当社製以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 天吊りの場合、設置メニューの反転表示を「上下左右」にしてください。くわしくは24ページをごらんください。
- プレーカなどを設置するよう、工事業者に依頼してください。ご使用にならないときは、必ずプレーカなどで主電源をおとしておいてください。
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本体の排気口から温風が出ますので、火災報知器の近くに設置しないでください。
- 天吊り時など、本機を高い位置に設置する場合は、落下の危険があるので、レンズキャップを使用しないでください。

半透過性のスクリーンに投写し、裏側から映像を見る場合

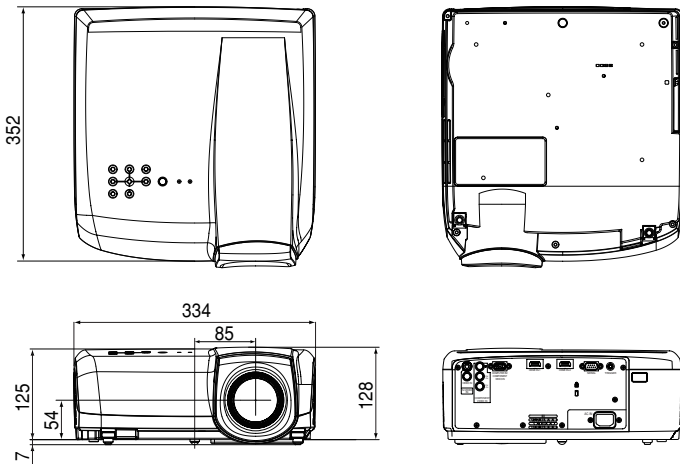
設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは販売店にご相談ください。



- 裏側から映像を見る場合、設置メニューの反転表示を「左右」にしてください。くわしくは24ページをごらんください。

寸法図(参考)

単位はmm



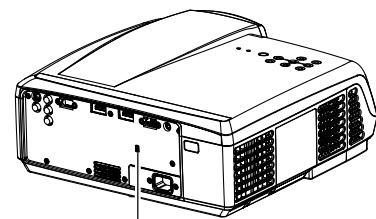
こんな機能もあります

ケンジントンセキュリティースロットについて

ケンジントンセキュリティースロットは、Kensington社セキュリティーケーブルに対応しています。セキュリティースロットおよびセキュリティーケーブルについては、日本総輸入代理店 七陽商事株式会社までお問い合わせください。連絡先は、以下の通りです。

七陽商事株式会社 情報機器事業部
103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-55-7 ナナヨウビル
TEL : 03-3663-7740
FAX : 03-3669-2367

注) 連絡先等は、変更になる可能性があります。ご了承ください。



ケンジントン
セキュリティースロット

その他

設置工事を依頼するときは
パスワードを設定する

お掃除のしかた

お手入れをする前には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- フィルターを掃除する場合、可燃性のエアークリーナーなどは絶対に使用しないでください。ランプ点灯の際、可燃成分に引火し、火災や故障の原因となることがあります。
- 本体やレンズを掃除する場合、可燃性の溶液(ベンジンやシンナーなど)やスプレーを使用しないでください。

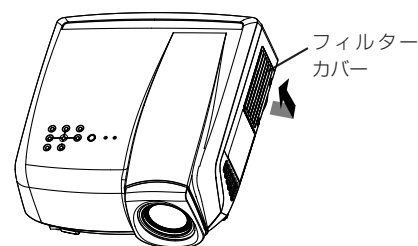
フィルターの掃除のしかた

フィルターのお手入れはこまめにおこなってください(1か月に一度程度)。吸気口にあるフィルターにほこりがたまると本体内部の温度が異常に高くなり、内部部品を傷めたり、パネルの寿命に影響を与えるなどして、故障の原因となることがあります。

- 本体内部の温度が異常に高くなると、STATUSインジケーターがオレンジ色で点滅し、電源が切れて光源ランプが消灯したスタンバイ状態になります。

1. フィルターカバーを本体から取り外す

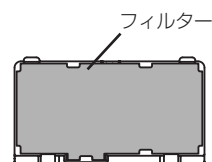
- フィルターカバー下部のツメを押し上げながら、フィルターカバーを矢印の方向に引きます。



2. フィルターをフィルターカバーから取り外す

3. フィルターを洗う

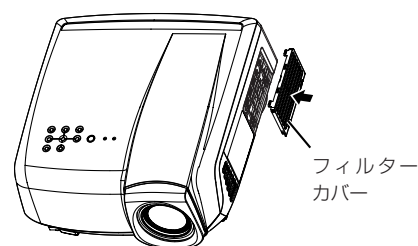
- 水で洗うか、汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤で洗って、水でよく洗い流してください。洗ったあとは、十分に乾燥させてください。



4. フィルターをフィルターカバーに取り付ける

5. フィルターカバーを本体に取り付ける

- フィルターカバー上部のツメを本体に差し込んでから、矢印の方向に押し込みます。
- フィルターの汚れが落ちなかったり、破損した場合は、新しいフィルターをご購入ください。フィルターのご購入に関しては、販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
- 専用のフィルターをお使いください。



⚠ 注意

- フィルターは必ず取付けてご使用ください。フィルターを取付けずに使用すると内部にほこりや異物が入り、火災、故障の原因となることがあります。

本体をきれいにする

柔らかい布で軽く汚れをふき取る

- 汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼって拭いて、乾いた布で仕上げてください。
- 殺虫剤をかけたり、ベンジンやシンナーなどで拭いたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させると、変質したり、塗料がはげる原因となります。

レンズをきれいにする

市販のレンズ手入れ用品(ブローワーブラシなど)でほこりや汚れを取る

- レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

付属フィルターユニットについて

本機には、より効果的なほこり防止のために、付属フィルターユニットが同梱されています。ほこりが多い場所でご使用になる場合は、工場出荷時に装着済みのフィルター(フィルターカバー)を付属フィルターユニットに取り替えてご使用ください。

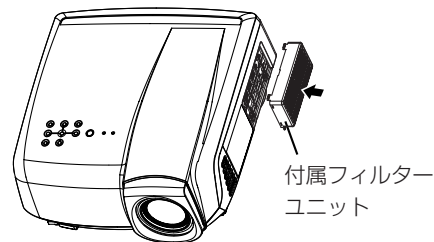
付属フィルターユニットの取り付けかた

付属フィルターユニットをプロジェクターに取り付ける前には必ず電源プラグをコンセントより抜いてください。

- 工場出荷時に装着済みのフィルター(フィルターカバー)は先に取り外してください。(32ページ参照)

1. 付属フィルターユニットを本体に取り付ける

- 付属フィルターユニット上部のツメを本体に差し込んでから、矢印の方向に押しします。
- 専用の付属フィルターユニット以外は使用しないでください。



フィルターの掃除のしかた

お手入れをする前には必ずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントより抜いてください。

- フィルターのお手入れはこまめに行ってください(1ヶ月に一度程度)。吸気口にあるフィルターにほこりがたまるとプロジェクター本体内部の温度が異常に高くなり、内部部品を傷めたり、パネルの寿命に影響を与えるなどして故障の原因となることがあります。
- 本体内部の温度が異常に高くなると、内部部品保護のため電源が切れて光源ランプが消灯したスタンバイ状態になることがあります。

1. 付属フィルターユニットを本体から取り外す

- 付属フィルターユニット下部のツメを押し上げながら、付属フィルターユニットを矢印の方向に引きます。

2. フィルターをカバーから取り外す

- ① フィルターを押さえているホルダーのツメを矢印方向に押しながらホルダーを取り外します。
- ② フィルター(白色)、スパーサー、フィルター(灰色)を取り外します。

3. フィルターに付着しているごみやほこりを掃除機などで吸い取る

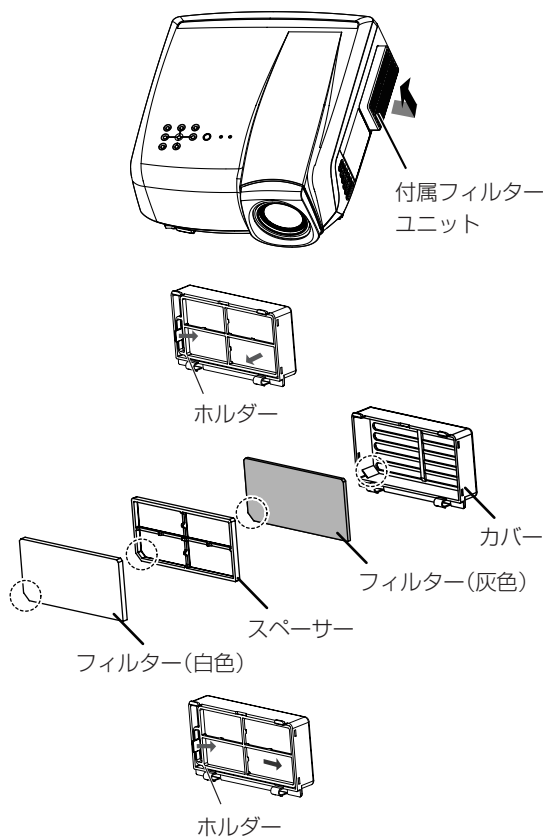
- 【フィルター(白色)について】
汚れがひどいときは、水洗いしてください。洗ったあとは、陰干しし、十分に乾燥させてください。
- 【フィルター(灰色)について】
汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤で洗って、水でよく洗い流してください。洗ったあとは、十分に乾燥させてください。

4. フィルターをカバーに取り付ける

- ① フィルター(灰色)、スパーサー、フィルター(白色)の切り欠き部をカバーの切り欠き部に合わせて挿入します。
- ② ホルダー右側のツメをカバーに差し込み、左側のツメを矢印方向に押しながら取り付けます。

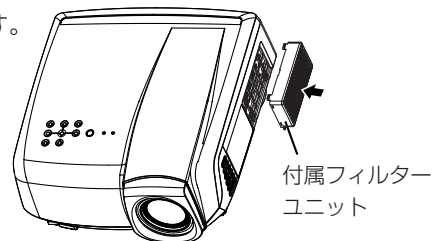
5. 付属フィルターユニットを本体に取り付ける

- 付属フィルターユニット上部のツメを本体に差し込んでから、矢印の方向に押しします。



警告

付属フィルターユニットを掃除する場合、可燃性のエアクリーナーなどは絶対に使用しないでください。ランプ点灯の際、可燃成分に引火し、火災や故障の原因となることがあります。



その他

付属フィルターユニットについて
お掃除のしかた

光源ランプを交換する

本機には、液晶パネルの映像を投写するために光源ランプが内蔵されています。

本光源ランプは消耗部品であり、使用中に切れたり、輝度が低下する場合があります。このような場合、早めに新しい光源ランプと交換してください。光源ランプは、必ず別売のLVP-HC6000専用の光源ランプをご使用ください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機修理窓口・ご相談窓口にご依頼ください。

LVP-HC6000 用光源ランプ
形名：VLT-HC5000LP

警告

- 光源ランプを交換する前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントから抜かずに交換を行うと感電の原因となることがあります。
- 光源ランプの固定ネジを本機内部に落とさないようにしてください。また、本機内部に金属片や燃えやすいものなどを入れないでください。内部に異物が入ったまま使うと感電や火災の原因となります。入ったものがとれないときは、異物の回収を三菱電機修理窓口にご依頼ください。
- 光源ランプは確実に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、光源ランプは点灯しません。また、火災の原因にもなります。
- 取り出した光源ランプは決して振ったり目の上より高い位置にもっていかないでください。ガラス片が飛び散ったり落下して目に入るなどのけがの恐れがあります。
- 使用した直後、ランプカバーは高温になっていますので光源ランプの交換はしないでください。やけどなどの原因となります。電源ボタンで電源を切り、光源ランプ消灯後、冷却のための吸、排気ファンが止まるまで約2分間お待ちください。そして電源プラグをコンセントから抜き1時間以上たって、十分に冷えてから交換をはじめてください。
- 高圧水銀ランプが破裂した場合、本体内部にガラス片が散乱している可能性があります。清掃やランプ交換をお客様ご自身でなされる場合、光源ランプの取っ手を持って行ってください。ガラス片でけがの恐れがあります。三菱電機修理窓口にご依頼ください。
- ランプ交換を天吊り状態の高い位置で行う場合は、三菱電機修理窓口にご依頼ください。

注意

本機は光源ランプの使用時間が3750時間*1を超えるとSTATUSインジケータが点滅し、パワーオンするたびに画面上に1分間メッセージが表示されます。4750時間*1を超えると以後25時間*1おきに画面上に1分間ランプ交換メッセージ(LAMP EXCHANGE)が表示されます。また、光源ランプの使用時間が5000時間*1*2を超えると自動的に電源が切れ、光源ランプを交換して、使用時間をリセットするまで使用することができなくなります。

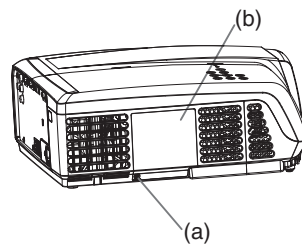
- 光源ランプは、交換以外の目的では取出さないでください。故障の原因となることがあります。
- 本機的光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音を併せて破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。また、高圧水銀ランプの破裂や不点灯に至るまでの時間は、高圧水銀ランプの個体差や使用条件によって大

きな差があり、使用開始後すぐに破裂することがあります。

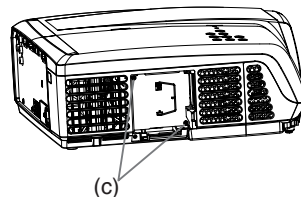
- 交換時期を超えてお使いになると破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出た場合、光源ランプが正常に点灯している状態でも速やかに新しい光源ランプと交換してください。
 - 高圧水銀ランプが破裂したとき、ランプBOXの中や外にガラスの破片が飛び散ったり、光源ランプ内部のガスが本体の排気口から出たりすることがあります(白いガス)。高圧水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりしないようご注意ください。万一、吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合には、速やかに医師にご相談ください。
 - 使用済みのランプは、自治体で定められた条例、もしくは規則に従って廃棄してください。
 - 光源ランプは専用のVLT-HC5000LPをご使用ください。他のランプを使用されると故障の原因となることがあります。
- *1 ランプモードを「低」にした場合の時間(「標準」にした場合の時間は短くなります)。
*2 ランプモードを「低」にした場合の時間(「標準」にした場合の時間は2000時間)。

床置き時のランプ交換のしかた

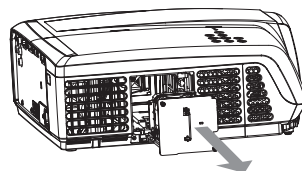
- 1 電源コードを抜く
- 2 ランプカバー止めネジ(a)をプラスドライバーで回してゆるめ、ランプカバー(b)を本体から取りはずす



- 3 ランプBOXの固定ネジ2本(c)をプラスドライバーで回してゆるめる

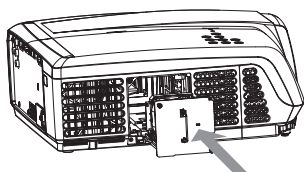


- 4 取っ手を引きあげる
- 5 取っ手を持って、ランプを本体から抜き出す



- ランプBOXを本体から抜き出す際は、ゆっくりと行ってください。電球部が破裂している場合は急に抜き出しますとガラス片が飛び散るおそれがあります。
- 取り出した光源ランプに水などをかけたり、お子さまの手の届くところや燃えやすい物の近くに置かないでください。やけどやけがの原因となります。

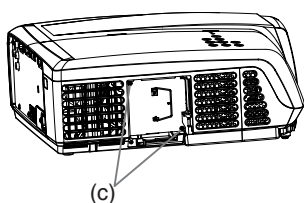
- 6 新しいランプの取っ手を持って、本体の穴の形状にランプ形状の方向を合わせて、ランプを奥にあたるまで差し込む



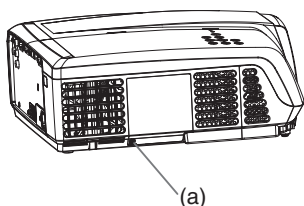
- 7 取っ手を収納部に押し込む

● 取っ手が確実にロックされていることを確認してください。

- 8 固定ネジ2本(c)をプラスドライバーで回してしっかりと締める



- 9 ランプカバーを本体に差し込み、ランプカバー止めネジ(a)をプラスドライバーで回してしっかりと締める



● ランプカバーがはずれているとPOWERインジケータが赤と緑で点滅し、電源が入りません。

ランプ使用時間をリセットする

- 10 電源プラグをコンセントに接続する
- 11 本体操作パネルの◀、▶ボタン、および電源ボタン(⏻)を同時に3秒以上押す

- 3つのボタンが同時に押されない場合、リセットされないことがあります。
- 正しくリセットされた場合、STATUSインジケータが赤色に2回点滅します。点滅したことを確認してください。
- ランプ使用時間が5000時間*を超えていた場合、ランプを交換しても使用時間をリセットするまでは、光源ランプを点灯させることはできません。
- ランプの交換をしていないときは使用時間をリセットしないでください。

* ランプモードを「低」にした場合の時間(「標準」にした場合の時間は2000時間)。

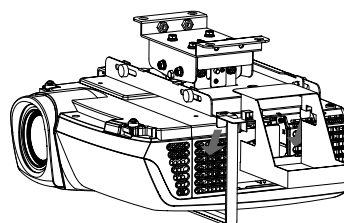
天吊り時のランプ交換のしかた

天吊りしているプロジェクターからランプを取り外す時は、ガラスの破片等から身を守るため、プロジェクターに付属のランプ交換用トレーをお使いください。

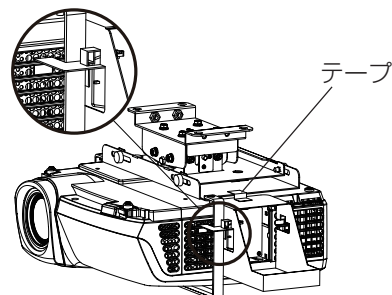
● ランプ交換用トレーの組立てかたについては、トレーに付属の説明書をお読みください。

- 1 「床置き時のランプ交換のしかた」の操作 1 ~ 4 を実行する

- 2 ランプ交換用トレーをプロジェクターに取り付ける



- 3 ランプ交換用トレーに付属のテープを使って、プロジェクターに取り付ける

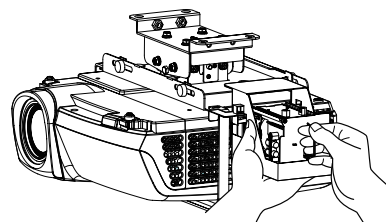


- 4 プロジェクターを固定しながら、ランプボックスをハンドルを使って引き出す

● ランプボックスを取り出す際にガラスの破片等がこぼれない様に、ランプ交換用トレーを固定してください。

● ランプの落下の恐れがあるので、ランプをランプ交換用トレーの上に直接載せないでください。

- 5 ランプ交換用トレーと一緒にランプを取り出す



- 6 「床置き時のランプ交換のしかた」の操作 6 ~ 11 を実行する

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお調べになってください。それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機修理窓口・ご相談窓口にご連絡ください。

映像が映らない

現象	確認/処置																				
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● インジケータの点灯のしかたを確認する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>POWER</th> <th>STATUS</th> <th>処置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 消灯</td> <td>○ 消灯</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを本機に接続する。 ● 電源プラグをコンセントに接続する。 </td> </tr> <tr> <td rowspan="4">  赤点灯 </td> <td>○ 消灯</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 電源プラグをコンセントから抜く。 2. 本体が冷めているのを確認する。 3. 電源プラグをコンセントに接続する。 4. 電源ボタンを押す。 </td> </tr> <tr> <td>○ オレンジ点滅</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。 ● 暖房の吹き出しが、排気口にかからないようにする。 ● フィルターが汚れていないか確認する。 →フィルターの手入れをする(32、33ページ参照)。 </td> </tr> <tr> <td>○ 緑点滅</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● STATUSインジケータの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。 <ul style="list-style-type: none"> ● ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続したとき、約1分間点灯できなくなる場合があります。 ● 光源ランプを消灯したあと、約1分間は再点灯できません。 ● 数回電源ボタンを押す。 </td> </tr> <tr> <td> 赤点灯</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 光源ランプを交換する。(光源ランプの寿命に達しています。) </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">  赤/緑点滅 </td> <td>○ 消灯</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● ランプカバーを取り付ける。 </td> </tr> <tr> <td>  点灯 または ○ 点滅 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをコンセントから抜き、販売店または三菱電機修理窓口・ご相談窓口にご相談ください。 </td> </tr> </tbody> </table>	POWER	STATUS	処置	○ 消灯	○ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを本機に接続する。 ● 電源プラグをコンセントに接続する。 	 赤点灯	○ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 電源プラグをコンセントから抜く。 2. 本体が冷めているのを確認する。 3. 電源プラグをコンセントに接続する。 4. 電源ボタンを押す。 	○  オレンジ点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。 ● 暖房の吹き出しが、排気口にかからないようにする。 ● フィルターが汚れていないか確認する。 →フィルターの手入れをする(32、33ページ参照)。 	○  緑点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● STATUSインジケータの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。 <ul style="list-style-type: none"> ● ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続したとき、約1分間点灯できなくなる場合があります。 ● 光源ランプを消灯したあと、約1分間は再点灯できません。 ● 数回電源ボタンを押す。 	 赤点灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 光源ランプを交換する。(光源ランプの寿命に達しています。) 	 赤/緑点滅	○ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプカバーを取り付ける。 	 点灯 または ○  点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをコンセントから抜き、販売店または三菱電機修理窓口・ご相談窓口にご相談ください。
POWER	STATUS	処置																			
○ 消灯	○ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを本機に接続する。 ● 電源プラグをコンセントに接続する。 																			
 赤点灯	○ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 電源プラグをコンセントから抜く。 2. 本体が冷めているのを確認する。 3. 電源プラグをコンセントに接続する。 4. 電源ボタンを押す。 																			
	○  オレンジ点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。 ● 暖房の吹き出しが、排気口にかからないようにする。 ● フィルターが汚れていないか確認する。 →フィルターの手入れをする(32、33ページ参照)。 																			
	○  緑点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● STATUSインジケータの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。 <ul style="list-style-type: none"> ● ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続したとき、約1分間点灯できなくなる場合があります。 ● 光源ランプを消灯したあと、約1分間は再点灯できません。 ● 数回電源ボタンを押す。 																			
	 赤点灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 光源ランプを交換する。(光源ランプの寿命に達しています。) 																			
 赤/緑点滅	○ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプカバーを取り付ける。 																			
	 点灯 または ○  点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをコンセントから抜き、販売店または三菱電機修理窓口・ご相談窓口にご相談ください。 																			
映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● レンズキャップをはずす。 ● ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。 ● まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってからもう一度点灯させてください。 ● 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、もう一度点灯させてください。 ● ランプカバーが閉まっているか確認してください(35ページ参照)。 ● オプションメニューのSCART入力の設定を「OFF」にしてください。 ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認してください。 ● 延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることを確認してください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせて使用してください。 ● 接続している映像機器の取扱説明書の接続方法を確認してください。 																				
電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口、排気口がふさがれているときになることがあります。(このときSTATUSインジケータはオレンジ点滅しています) →吸気口、排気口をふさいでいる物を取り除いてから以下の操作を行う。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 吸、排気ファンが止まるまで待つ (STATUSインジケータが消灯するまで待つ)。 2. 電源プラグをコンセントから抜く。 3. 10分以上待つ。 4. 電源プラグをコンセントに接続する。 5. 電源ボタンを入れる。 ● STATUSインジケータが赤く点灯しているときは、ランプ交換の表示です。光源ランプを交換してください。 ● オートパワーオフが設定されていませんか。 ● ランプが劣化した場合、点灯後しばらくしてから消灯することがあります。 																				
パスワード入力画面が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● オプションメニューのパスワードロック機能で「映像表示」が設定されてます。 →設定を解除する(30ページ参照)。 																				
「入力信号がありません」が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続した機器の電源を入れる。または、接続した機器が故障していないか確認する。 ● 外部機器の信号が出力されているか確認する。(特にノートタイプのコンピュータの場合) ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。 ● 外部機器と接続している端子が正しい端子に接続されているか確認する。 ● 接続した機器の入力が正しく選ばれているか確認する。 ● RGB接続時に延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることを確認してください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせて使用してください。 																				

映像がおかしい

現象	確認/処置
映像がゆれる 画面位置がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部機器と接続しているケーブルが断線しかかかっていないか確認する。 ● 外部機器と接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● AUTO POSITIONボタンを押す。 ● コンピュータの種類によっては、まれに規格外の信号が出力される場合があるので信号設定メニューで調整する(29ページ参照)。
映像がひずむ	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機と投写面が直角になるように調整する(11ページ参照)。
映像が暗い	<ul style="list-style-type: none"> ● 画質メニューのブライトの調整をする(27ページ参照)。 ● ランプを交換する(34ページ参照)。
映像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスを合わせる。(16、20ページ参照) ● レンズをきれいに拭く。 ● 信号設定メニューのファインと分周比の調整をする(29ページ参照)。 ● リモコンの◀、または▶ボタンを押してちらつきをなくす。 ● 画質メニューのブライトおよびコントラストの調整をする(27ページ参照)。 ● 本機と投写面が直角になるように調整する(11ページ参照)。
画面が焼き付く (残像がある)	<ul style="list-style-type: none"> ● 均一な暗い画面を表示し続けることにより緩和されます。(ゲーム画面などの静止画を長時間投写し続けると、画面の痕跡が残る「焼き付け現象」が発生する場合があります。)
映像に赤、青、緑などの 光る点が見える 映像に黒い点が見える	<ul style="list-style-type: none"> ● 液晶プロジェクター特有の現象です。故障ではありません。 (一部、常時点灯または常時不点灯の画素が存在する場合がありますが、故障ではありません。 99.99%は有効な画素数です。)
映像に細かい縞模様 が見える	<ul style="list-style-type: none"> ● スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。スクリーンを交換するか本機のフォーカスを少しずらしてみてください。
映像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部機器との接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● 妨害電波を発信している機器から遠ざける。
色合いがおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ● 信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定が正しく設定されているか確認する。(25ページ参照) ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
色合いが異なる	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機を2台以上投写し比較した場合、色合いが異なることがありますが、故障ではありません。 ● テレビやパソコンのモニター等と比較した場合、色再現範囲の違い等により色合いが異なることがありますが、故障ではありません。
コンピュータの動画部分 だけが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータの問題です。コンピュータメーカーにお問い合わせください。
映像がにじむ	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータの出力解像度をプロジェクターの解像度に合わせる。(40ページ参照) コンピュータの出力解像度の変更については、コンピュータメーカーにお問い合わせください。
映像が静止画像から 切りかわらない	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオと接続しているとき、早送り再生中に映像が静止画像から切りかわらなくなることがありますが、故障ではありません。
映像の周囲にノイズ が見える	<ul style="list-style-type: none"> ● DVD等の映像によっては、記録されている映像の周囲にノイズがある場合があります。その場合は、信号設定メニューのオーバースキャンの設定値を下げてください。(25ページ参照)

その他

現象	確認/処置
排気口から温風が出る	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機内部を冷却して出てくる温風です。熱く感じることはありますが故障ではありません。
メニュー設定ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● ノイズなどの影響で、本機内部のマイコンが誤動作していることがあります。 → 電源ボタンを押しランプを消してから約2分間待った後、電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続する。電源ボタンもはたらかないときは、電源プラグをコンセントから抜き、10分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続する。
画面上に「温度異常!!」 が表示(点滅)がされる	<ul style="list-style-type: none"> ● 周辺温度が高くなると表示されます。高温状態が続くと、光源ランプが消えます。 → 周辺温度が高くなる原因を取り除く。 ● 吸気口、排気口をふさいでいると表示されることがあります。その状態を続けると光源ランプが消えます。 → 吸気口、排気口をふさいでいるものを取り除く。フィルターカバーの手入れをする(32、33ページ参照)。
⓪マークが表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● 動作しない操作を行ったときに表示されます。故障ではありません。
リモコンが効かない・ 効きにくい	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池が消耗していないか確認する。 ● リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの光が直接当たっていないか確認する(10ページ参照)。 ● リモコンの操作範囲から外れていないか確認する(10ページ参照)。
本体操作パネルのボタン (電源ボタンを除く)が はたらかない	<ul style="list-style-type: none"> ● オプションメニューのパスワードロック機能で「キー操作」が設定されています。 → 設定を解除する(31ページ参照)。
機械的な動作音(カシャカシャ した音など)がする	<ul style="list-style-type: none"> ● アイリス(絞り)が動いている音です。故障ではありません。

ランプ交換のあとで、以下の症状が出たときは、まず、次のことをお調べください。

現象	確認/処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプカバーをきちんと取り付ける。 ● ランプ使用時間をリセットする(35ページ参照)。
STATUSインジケーターが点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプ使用時間をリセットする(35ページ参照)。

索引

ア行

アドバンスドメニュー 23
 アフターサービス 42
 色合い 23、27
 色温度 23、27
 色の濃さ 23、27
 映像ポジション 23
 オートアイリス 23、28
 オートパワーオフ 24
 オートパワーオン 24
 オプションメニュー 25

カ行

画質メニュー 23
 乾電池を入れる 2
 ガンマモード 23、28
 クランプ位置 26、29
 クランプ幅 26、29
 言語選択 25
 コントラスト 23、27
 コンピュータとの接続 19

サ行

上部曲がり補正 25、29
 シャープネス 23、27
 仕様 39
 詳細設定メニュー 26
 情報メニュー 26
 信号設定メニュー 25
 信号判別 25
 スクリーンサイズ 23
 接続
 コンピュータ 19
 ハイビジョンデジタルチューナー 14
 ビデオ機器 14
 DVDプレーヤー 14
 HDMI 端子付き映像機器 15
 接続できる信号の種類 40
 設置メニュー 24

タ行

台形補正 12、24
 投写角度の調整 11
 投写距離 12、13

ナ行

ノイズリダクション 28

ハ行

パスワードロック 25、30
 バックカラー 24
 反転表示 24
 ビデオ機器との接続 14
 ピントの調整 16、20
 フィルター 32、33
 付属品 2
 ブライト 23、27
 分周比 25、29
 別売品 39

マ行

メニュー位置 25
 メニュー設定のしかた 22

ラ行

ランプカバー 34
 ランプの交換 34
 ランプモード 24
 リモコン受光部 8、10

A

ASPECT ボタン 9、18
 AUTO POSITION ボタン 8、9、20
 AV メモリー 29
 AV MEMORY ボタン 9、29

B

BAR 23、28

C

COMPUTER IN/COMPONENT VIDEO IN 端子
 8、19
 COMPUTER ボタン 8、9、20

D

DVD プレーヤーとの接続 14、15

E

ENTER ボタン 8、9、22

H

HDMI IN 端子 8、15
 HDMI/COMPUTER ボタン 8、16、20

L

LENS SHIFT ボタン 11、16、20

M

MENU ボタン 8、9、22
 MNR 23、28

P

POWER インジケーター
 8、16、19、36、41

S

SERIAL 端子 8
 STATUS インジケーター
 8、16、19、34、35、36、41、42
 S-VIDEO IN 端子 8、14

T

TRIGGER 出力 13、24
 TRIGGER 端子 8、13
 TRNR 23、28

V

VIDEO ボタン 8、9、16
 VIDEO IN 端子 8、14

端子について

SERIAL 端子(9ピン)

PIN No.	名 称	I/O
1	-	-
2	TXD	入力
3	RXD	出力
4	-	-
5	GND	-
6	-	-
7	-	-
8	-	-
9	-	-

COMPUTER IN/COMPONENT VIDEO IN端子(ミニD-Sub 15ピン)

PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様
1	R(RED)/Pr/Cr	9	DDC 5V
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/Pb/Cb	11	GND
4	GND	12	DDC Data
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	DDC Clock
8	GND		

HDMI IN端子

PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様
1	TMDS Data2+	8	TMDS Data0 Shield	15	SCL
2	TMDS Data2 Shield	9	TMDS Data0-	16	SDA
3	TMDS Data2-	10	TMDS Clock+	17	DDC Ground
4	TMDS Data1+	11	TMDS Clock Shield	18	+5 V Power
5	TMDS Data1 Shield	12	TMDS Clock -	19	Hot Plug Detect
6	TMDS Data1-	13	CEC		
7	TMDS Data0+	14	-		

仕様

(仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。予めご了承ください。)

形名	LVP-HC6000	
表示方式	p-Si TFT透過形液晶×3枚	
光学方式	ダイクロイックミラーによる色分離・プリズム色合成方式	
表示素子	サイズ	0.74形×3(枚)、アスペクト比16:9
	画素数	2,073,600画素(1920×1080)×3枚 総画素数:6,220,800画素
投写レンズ	焦点距離	f=23.5~37.6mm
	F値	F2.5~F3.1
光源	高圧水銀ランプ 160W	
画面サイズ(投写距離)	最小50形~最大300形(投写距離1.5~9.5m)	
表示可能解像度	コンピュータ信号入力時	最大入力解像度:1600×1200ドット パネル表示解像度:1920×1080ドット
	ビデオ信号入力時	表示可能信号:NTSC、4.43NTSC、PAL、SECAM、PAL-N、PAL-M、PAL-60 NTSC水平解像度:600TV本(S端子入力時)
	コンポーネントビデオ信号入力時	表示可能信号:480i、480p、576i、576p、720p、1080i、1080p パネル表示解像度:1920×1080ドット
コンピュータ入出力	コンピュータ入力	映像入力 ミニD-Sub15ピン(RGBまたはY/Pb/PrまたはY/Cb/Cr信号対応)、1系統 ・RGB:0.7Vp-p 75Ω/1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) ・Y:1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) ・PbPr/CbCr:0.7Vp-p 75Ω ・HD:TTLレベル(負または正極性) ・VD:TTLレベル(負または正極性)
HDMI入出力	HDMI入力	映像入力 HDMI、2系統
ビデオ入出力	ビデオ入力	映像入力 RCA端子、1系統 ・1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) S端子、1系統 ・Y:1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) ・C:0.286Vp-p 75Ω(バースト信号)
	コンポーネントビデオ入力	映像入力 RCA端子×3(YCbCr/YPbPr)、1系統 ・Y:1.0Vp-p 75Ω(同期負極性) ・PbPr/CbCr:0.7Vp-p 75Ω
制御入出力/その他	SERIAL	D-SUB9ピン、RS-232C準拠:1系統、プロジェクター本体制御用
	TRIGGER	3.5mm ステレオミニジャック:1系統、12V 最大200mA
使用温度(使用湿度)	使用温度範囲:5~35℃(使用湿度範囲:30~90%)	
電源	AC100V、50/60Hz	
消費電力	2.5A 250W(スタンバイ時7W:参考値)	
外形寸法	W(幅)334mm×H(高さ)125mm×D(奥行き)352mm ※本体突起部含まず	
質量	5.6kg	

その他

索引仕様

「JIS C 61000-3-2適合品」

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第3-2部: 限度値—高調波電流発生限度値(1相当りの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

別売品

光源ランプ	(形名 VLT-HC5000LP)
高天井用ポール	(形名 BR-1P)
天井用取付金具ベース	(形名 BR-1*)
天井用取付けアダプター	(形名 BR-HC5000S*)
オプションフィルター	(形名 CF6000)

※ BR-1、BR-HC5000Sはセットでご使用ください。
単独では天井へ取り付けられません。

仕様(つづき)

接続できる信号の種類

信号モード	解像度 (H x V)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	通常表示*1 (H x V)	
TV60, 480i(525i)	—	15.73	59.94	1920×1080	*2
TV50, 576i(625i)	—	15.63	50.00	1920×1080	*2
1080i 60 (1125i 60)	—	33.75	60.00	1920×1080	*2
1080i 50 (1125i 50)	—	28.13	50.00	1920×1080	*2
480p (525p)	—	31.47	59.94	1920×1080	*2
576p (625p)	—	31.25	50.00	1920×1080	*2
720p 60 (750p 60)	—	45.00	60.00	1920×1080	*2
720p 50 (750p 50)	—	37.50	50.00	1920×1080	*2
1080p 60 (1125p 60)	—	67.50	60.00	1920×1080	*2
1080p 50 (1125p 50)	—	56.25	50.00	1920×1080	*2
1080p 24 (1125p 24)	—	27.00	24.00	1920×1080	*2
PC98	640×400	24.82	56.42	1728×1080	
CGA70	640×400	31.47	70.09	1728×1080	
VGA60	640×480	31.47	59.94	1440×1080	*2
VGA72	640×480	37.86	72.81	1440×1080	
VGA75	640×480	37.50	75.00	1440×1080	
VGA85	640×480	43.27	85.01	1440×1080	
SVGA56	800×600	35.16	56.25	1440×1080	
SVGA60	800×600	37.88	60.32	1440×1080	*2
SVGA72	800×600	48.08	72.19	1440×1080	
SVGA75	800×600	46.88	75.00	1440×1080	
SVGA85	800×600	53.67	85.06	1440×1080	
XGA60	1024×768	48.36	60.00	1440×1080	*2
XGA70	1024×768	56.48	70.07	1440×1080	
XGA75	1024×768	60.02	75.03	1440×1080	
XGA85	1024×768	68.68	85.00	1440×1080	
MAC13	640×480	35.00	66.67	1440×1080	
MAC16	832×624	49.72	74.55	1440×1080	
MAC19	1024×768	60.24	75.02	1440×1080	
HP75	1024×768	62.94	74.92	1440×1080	
SXGA60	1280×1024	63.98	60.02	1350×1080	*2
UXGA60	1600×1200	75.00	60.00	1440×1080	*2

*1: オプションメニューの画角が「AUTO」に設定されているとき。

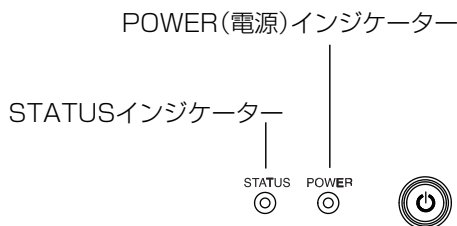
*2: HDMI IN端子対応

- 本機の最大解像度は1920×1080ドットです。これ以上の解像度の場合は、本来の解像度は得られません。
- SYNC ON G対応の信号は、映像が緑っぽくなる場合があります(このとき、詳細設定メニューのクランプ位置またはクランプ幅を調整してください)。
- SYNC ON G対応の信号は、画面が少し揺れる場合があります。
- 表に載っていない解像度と周波数のときは接続するコンピュータの解像度を変更することにより、対応できる解像度と周波数に変更できる場合があります。
- 本機は当社製ビジュアルセンタ― VC-2001およびRGBデコーダ D-2001には対応していません。
- 480pの4線(R、G、B、CS*)出力機器および5線(R、G、B、H、V)出力機器について本機は対応していません。

*Composite Sync

インジケータの見かた

本機には、内部の状態を知らせるインジケータが2つあります。インジケータの点灯のしかたで、どのような状態かを知ることができます。次のことをご調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、三菱電機修理窓口・ご相談センターにご連絡ください。



正常時

POWER	STATUS	状態	備考
赤点灯	○ 消灯	電源スタンバイ状態	
	○ 緑点滅	クーリング中	電源「入」の操作はできません。
緑点灯	○ 赤点滅	ランプスタンバイ状態	電源「切」の操作はできません。
	赤点灯 緑点灯	電源「入」(通常時)	

異常時

POWER	STATUS	状態	処置
緑点灯 または 赤点灯	○ 赤点滅 オレンジ点滅	本機内部が高温になっている ・吸気口または排気口をふさいでいる。 ・暖房の吹き出し口など高温になる場所で使用している。	・ふさいでいる物をとる。 ・設置場所を変える。
赤点灯	○ 赤点滅 緑点滅	保護回路がはたらいている または ランプが異常	・STATUSインジケータの緑点滅が消えてから電源ボタンを押す 上記の操作を数回行って、光源ランプが点灯しないときは、光源ランプを交換してください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機修理窓口・ご相談窓口にご依頼ください。
緑点灯 赤点灯	赤点滅 緑点滅 赤点灯	ランプ交換表示(通算約3750時間 ^{*1} 使用・電源が「入」のとき) ランプ交換表示(通算約3750時間 ^{*1} 使用・電源が「切」のとき) ランプ交換表示(通算約5000時間 ^{*1*2} 使用)	光源ランプを交換してください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機修理窓口・ご相談窓口にご依頼ください。
赤点灯 緑点滅	○ 消灯	ランプカバーが開いている	ランプカバーを閉じる。
	赤点灯 または 緑点滅	故障	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または三菱電機修理窓口・ご相談窓口にご相談ください。

※1 ランプモードを「低」にした場合の時間(「標準」にした場合の時間は短くなります)。

※2 ランプモードを「低」にした場合の時間(「標準」にした場合の時間は約2000時間)。

その他

仕様
インジケータの見かた

保証とアフターサービス

■保証書(別添付)

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのおと、大切に保管してください。

保証期間
お買上げ日から1年間です
但し、ランプは1年以内で500時間まで

●ランプ使用時間の確認方法

スタンバイ状態で、▲、▼ ボタンを押しながら、電源ボタン (⏻) を押したとき、STATUS インジケータが約5秒間、緑色に点灯すれば、ランプ使用時間は500時間以内です(ランプ使用中は点灯しません)。

●光源ランプを交換されるときは

光源ランプは専用のVLT-HC5000LPをご使用ください。他のランプを使用された場合、製品の保証を受けられないことがあります。

■補修用性能部品の最低保有期間

- 当社は、プロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 光源ランプなどの消耗部品の他に、液晶パネル、偏光板、PBS(光偏光素子)、カラーホイールなどの光学部品及び冷却ファンは寿命部品で、定期的な交換が必要です。長時間(毎日6時間以上)ご使用されると、1年未満であっても修理・交換が必要になる場合があります。また、たばこの煙やほこりの多い場所でご使用になると、定期的な交換サイクルを早める場合があります。詳しくは、お近くの「三菱電機修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

- ◎「故障かなと思ったら」の手順にしたがって、お調べください。
- なお、不具合があるときは、電源を切ったあと、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。
- ◎保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。
- ◎保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
- ◎修理料金は
技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

◎ご連絡いただきたい内容

1. 品名 三菱液晶プロジェクター
2. 形名 LVP-HC6000
3. お買上げ日 年 月 日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご住所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内 (家電品)

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店へ

転居や贈答品などでお買上げの販売店へ
ご依頼できない場合は

修理のお問い合わせは

その他のお問い合わせは

修理窓口へ

ご相談窓口へ

お問合わせ窓口におけるお客さまの個人情報 のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客さまからご提供いただきました個人情報を、下記のようにお取り扱いします。

1. お問い合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事、および製品のお取り扱いに関連してお客さまよりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質やサービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問い合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客さまからご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、当社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

修理窓口 電話受付：365日 24時間

北海道・東北地区

北海道全域、宮城県

東日本フロントセンター 東京都世田谷区池尻 3-10-3
 フリーダイヤル ☎0120-56-8634
 通常電話番号(携帯電話対応) (03) 3424-1111
 ファックス (03) 3424-1115
 インターネット www.melsc.co.jp

青森 (017) 773-8381 <small>青森市大字野木字野尻 37-184</small>	山形 (023) 624-0018 <small>山形市大野目 2-1-21</small>
八戸 (0178) 28-8544 <small>八戸市大字長苗代字下亀子谷地 6-8</small>	鶴岡 (0235) 24-6161 <small>鶴岡市上畑町 5-4</small>
盛岡 (019) 637-7454 <small>盛岡市羽場13地割 30-11</small>	郡山 (024) 959-6543 <small>郡山市喜久田町卸 1-76-1</small>
水沢 (0197) 25-4511 <small>奥州市水沢区御町 2-3</small>	会津 (0242) 27-4426 <small>会津若松市天神町 25-39</small>
秋田 (018) 865-4471 <small>秋田市八橋三和町 19-36</small>	原町 (0244) 24-2842 <small>南相馬市原町区桜井町 1-173</small>
横手 (0182) 32-1785 <small>横手市卸町 3-2</small>	いわき (0246) 26-1822 <small>いわき市小島町 1-2-2</small>
大館 (0186) 42-2781 <small>大館市餅田 2-5-44</small>	

関東・甲信越地区

東京都、神奈川県、千葉県、茨城県、埼玉県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県(飯田地区除く)、新潟県、静岡県

東日本フロントセンター 東京都世田谷区池尻 3-10-3
 フリーダイヤル ☎0120-56-8634
 通常電話番号(携帯電話対応) (03) 3424-1111
 ファックス (03) 3424-1115
 インターネット www.melsc.co.jp

関西・東海・北陸・中国・四国地区

大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県、京都府、滋賀県、愛知県、三重県、岐阜県、長野県(飯田地区)、石川県、富山県、福井県、広島県、山口県、島根県、鳥取県、岡山県、香川県、徳島県、高知県、愛媛県

西日本フロントセンター 大阪市北区大淀中 1-4-13
 フリーダイヤル ☎0120-56-8634
 通常電話番号(携帯電話対応) (06) 6454-3901
 ファックス (06) 6454-3900
 インターネット www.melsc.co.jp

九州地区

福岡県、佐賀県

東日本フロントセンター 東京都世田谷区池尻 3-10-3
 フリーダイヤル ☎0120-56-8634
 通常電話番号(携帯電話対応) (03) 3424-1111
 ファックス (03) 3424-1115
 インターネット www.melsc.co.jp

長崎 (095) 834-1116 <small>長崎市丸尾町 4-4</small>	宮崎 (0985) 56-4900 <small>宮崎市大字赤江字飛江田 150-1</small>
佐世保 (0956) 30-7740 <small>佐世保市木原町 155-1</small>	延岡 (0982) 21-3540 <small>延岡市惣領町 25-5</small>
熊本 (096) 380-0211 <small>熊本市石原 1-10-35</small>	鹿児島 (099) 260-2421 <small>鹿児島市卸本町 7-17</small>
八代 (0965) 33-5173 <small>八代市緑町 13-1</small>	沖縄 (098) 898-3333 <small>宜野湾市大山 7-12-1</small>
大分 (097) 558-8803 <small>大分市向原西 1-8-1</small>	

ご相談窓口

当社家電品の購入・取扱い方法・その他ご不明な点は

三菱電機お客さま相談センター

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

受付時間365日 24時間

■ 全国どこからでもおかけいただけるフリーコール

☎0120-139-365 (無料)
いつもサンキュー 365日

■ 通常電話番号(携帯電話対応) (03) 3414-9655
 ■ ファックス (03) 3413-4049

■ ご相談対応 平日 9:00~19:00
 土・日・祝 9:00~17:00
 上記以外の時間は受付のみ可能です。

この製品に関する詳細情報や応用例などを、WWWサーバでもご提供しています。

www.MitsubishiElectric.co.jp/projector/index.html

● 所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

A4-PJK07A

その他

保証とアフターサービス


● ご購入店などをメモしておきますとあとで役に立ちます。

購入年月日 _____

購入店名（住所） _____

電話番号 _____

この液晶プロジェクターの形名はLVP-HC6000です。

愛情点検		● 長年ご使用の場合は点検をぜひ /	熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。
	<p>このような症状はありませんか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コード、電源プラグが異常に熱い。 ● コゲくさい臭いがする。 ● 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ● 電源スイッチを入れても映像がでない。 ● 映像が乱れたり、画面が異常にかけたりする。 ● その他の異常・故障がある。 	<p>ご使用中止</p> <p>故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。</p>
	▶		

液晶プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。